

2016年12月26日
株式会社日本政策金融公庫
中小企業事業本部
保険企画部

信用保証に関する金融機関アンケート調査結果の概要 (2016年度下期調査)

定例調査

- [概況] ・中小企業向け貸出D.I.は、引き続きプラスで推移
・信用保証付貸出D.I.は、引き続きマイナスで推移
・条件変更D.I.及び代位弁済D.I.は、引き続きマイナスで推移

【中小企業向け貸出】

- 中小企業向け貸出D.I.は5.7と8期連続でプラス。
次期見込みは3.9とやや減少。

【信用保証付貸出】

- 信用保証付貸出D.I.は▲15.4と11期連続でマイナス。
次期見込みは▲12.0とマイナス幅がやや縮小。

【信用保証付貸出における条件変更】

- 条件変更D.I.は▲5.7と9期連続でマイナス。
次期見込みは横ばいの▲5.0。

【金融機関から信用保証協会への代位弁済請求】

- 代位弁済D.I.は▲8.2と7期連続でマイナス。
次期見込みは▲6.0とマイナス幅がやや縮小。

特別調査

～中小企業金融に係る取組みについて～

- ・今後については、「事業性を評価した担保・保証によらない貸出」を重点的に取組む金融機関が増加し、一方で「信用保証協会の保証付き貸出」、「不動産を担保とする貸出」及び「代表者等の保証による貸出」は減少となる見通し。

【メインバンクとして中小企業から期待されていること】

- 「安定的な資金供給」が最多、次いで「経営指導・アドバイス(コンサルティング)」、「事業内容の理解」が続いている。

【経営支援について特に連携が必要な関係機関等】

- 「信用保証協会」が最多、次いで「中小企業再生支援協議会」、「外部専門家(弁護士、税理士等)」が続いている。

【信用保証付き融資を利用する理由】

- 「中小企業者の信用力を補完するのに必要なため」が最多、次いで「地公体の融資制度が利用できるため」が続いている。

【重点的に取組む中小企業に対する貸出手法(現在及び今後)】

- 「事業性を評価した担保・保証によらない貸出」が最多、次いで「信用保証協会の保証付き貸出」が続いている。
○今後については、「事業性を評価した担保・保証によらない貸出」が増加し、一方で「信用保証協会の保証付き貸出」、「不動産を担保とする貸出」及び「代表者等の保証による貸出」は減少。

<お問い合わせ先>

株式会社日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 保険分析グループ (担当：宮本、角)

TEL: 03-3270-2384 FAX: 03-3242-0033 E-mail: cnhbunseki@jfc.go.jp

本資料は日本銀行金融記者クラブ、経済産業記者会に同時配布しております。

信用保証に関する金融機関アンケート調査結果の概要 (2016年度下期調査)

<調査の要領>

調査時点	2016年10月
調査方法	郵送による記名式アンケート調査
調査対象	267の金融機関(都市銀行5、地方銀行64、第二地方銀行41、信用金庫134、信用組合23) (信用金庫および信用組合については各々一定額以上の保証債務残高を有する金融機関)
回答数	245の金融機関(都市銀行5、地方銀行57、第二地方銀行37、信用金庫125、信用組合21)
回答率	91.8%

<特別調査> 中小企業金融に係る取組みについて、調査を実施。

- (注) $D.I. = (\text{「増加」} \text{と回答した金融機関の割合} + 0.5 \times \text{「やや増加」} \text{と回答した金融機関の割合}) - (\text{「減少」} \text{と回答した金融機関の割合} + 0.5 \times \text{「やや減少」} \text{と回答した金融機関の割合})$ 。前年同期比での増減見通し。
(注) 地域別集計は、都市銀行の回答は含まず、以下の都道府県に本店を構える金融機関の回答を集計したもの。

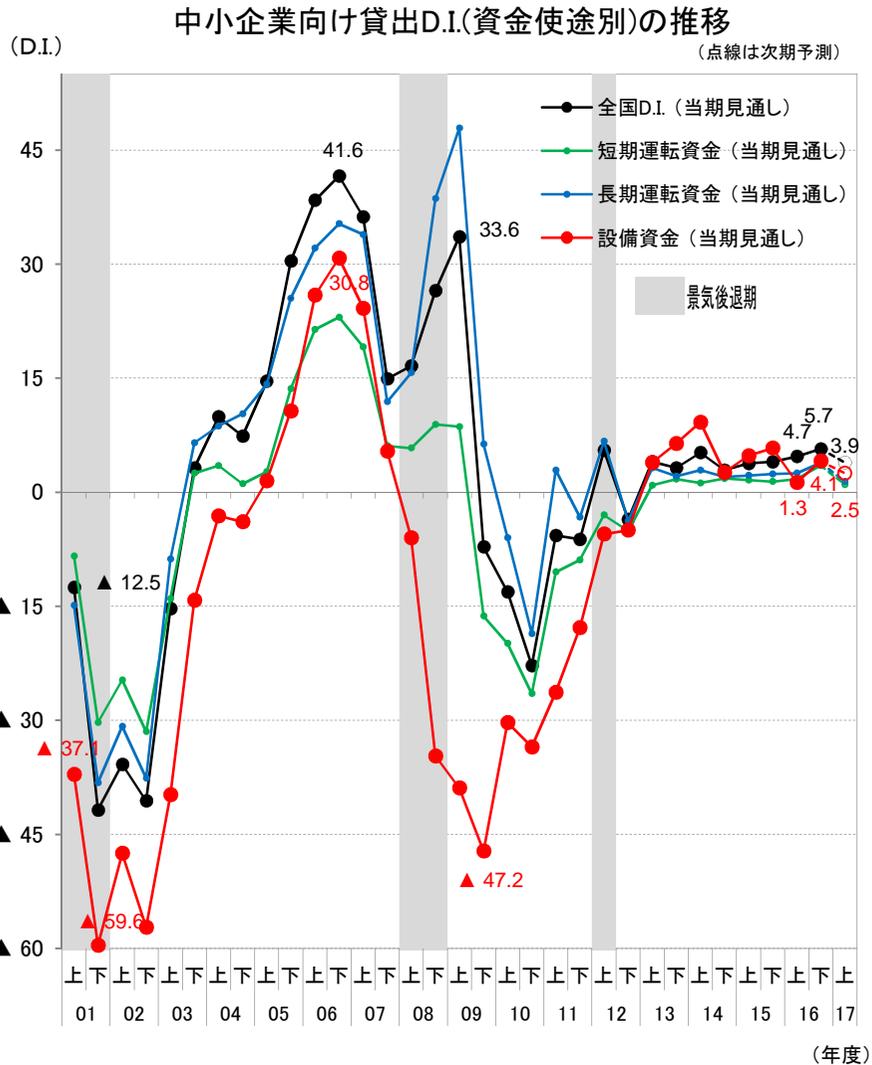
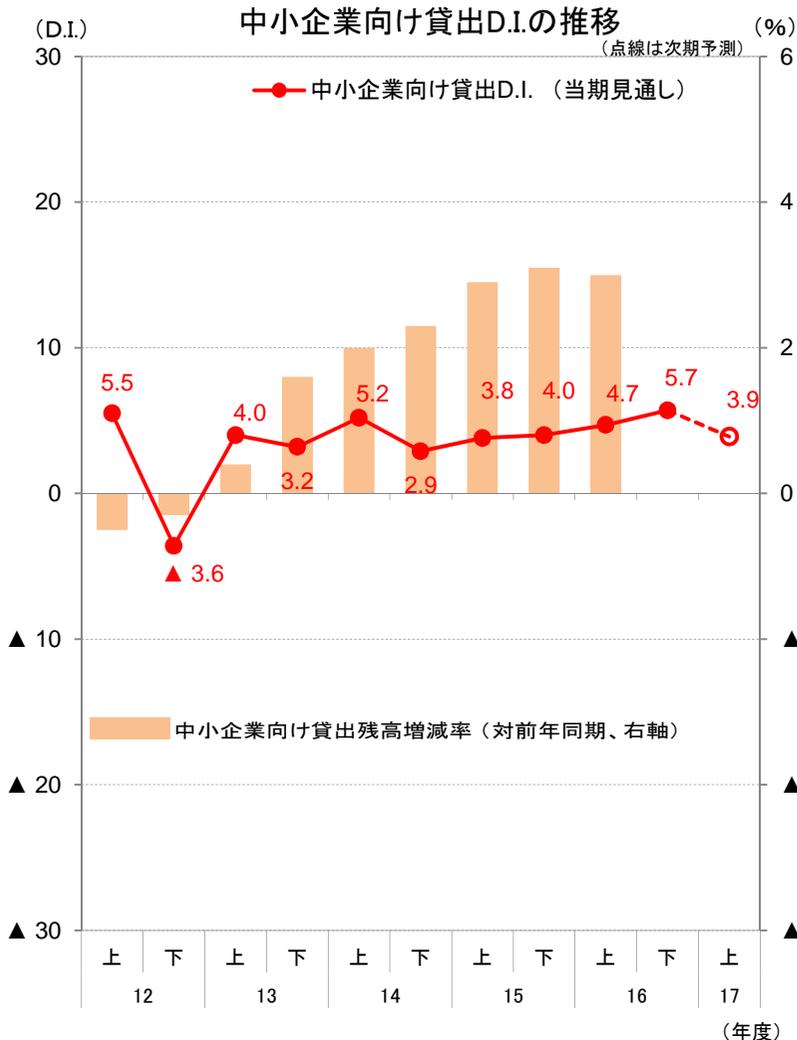
【 】内の数字は、回答金融機関数／調査対象機関数。

- 東北・北海道【28/34】: 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
 関東甲信越【83/88】: 新潟、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
 東海・北陸【50/53】: 静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井
 近畿【33/37】: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 中国【16/16】: 鳥取、島根、岡山、広島、山口
 四国【8/9】: 香川、徳島、高知、愛媛
 九州・沖縄【27/30】: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

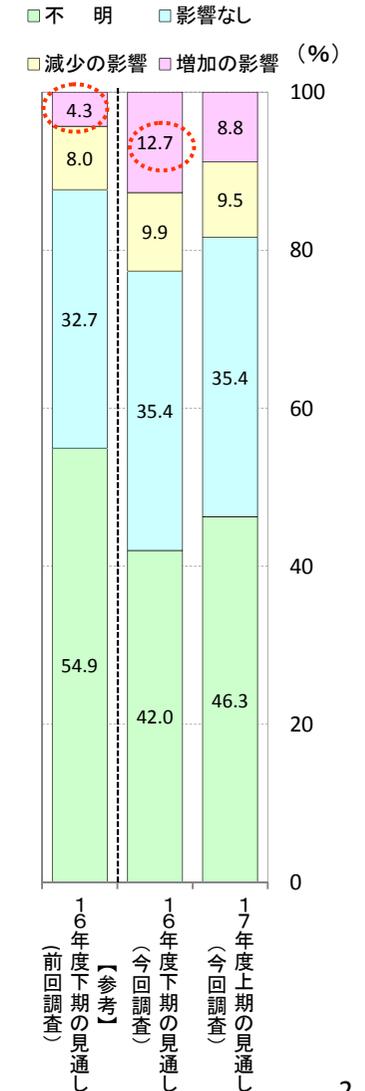
定例調査

1. 中小企業向け貸出の動向について

- ◆ 中小企業向け貸出D.I.は、2013年度上期以降8期連続でプラス。次期はやや減少の見込み。
- ◆ 資金用途別にみると、設備資金のプラス幅がやや拡大。次期はやや縮小の見込み。
- ◆ 中小企業向け貸出に対するマイナス金利の影響は、「2016年度下期の見通し」については、前回調査(2016年度上期調査)と比べて「増加の影響」と回答した金融機関が増加(4.3%→12.7%)。



マイナス金利の影響

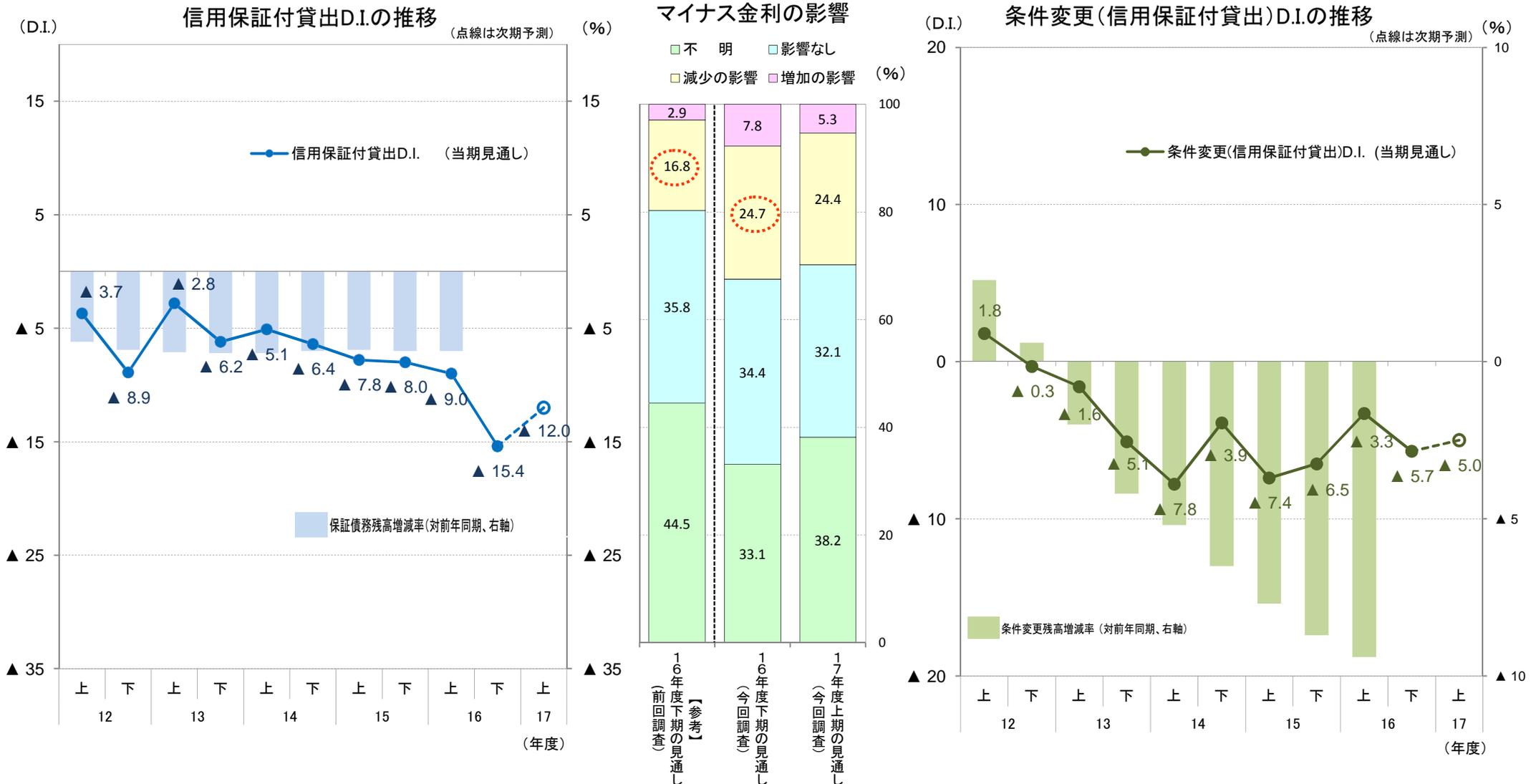


2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

2. 信用保証付貸出の動向について

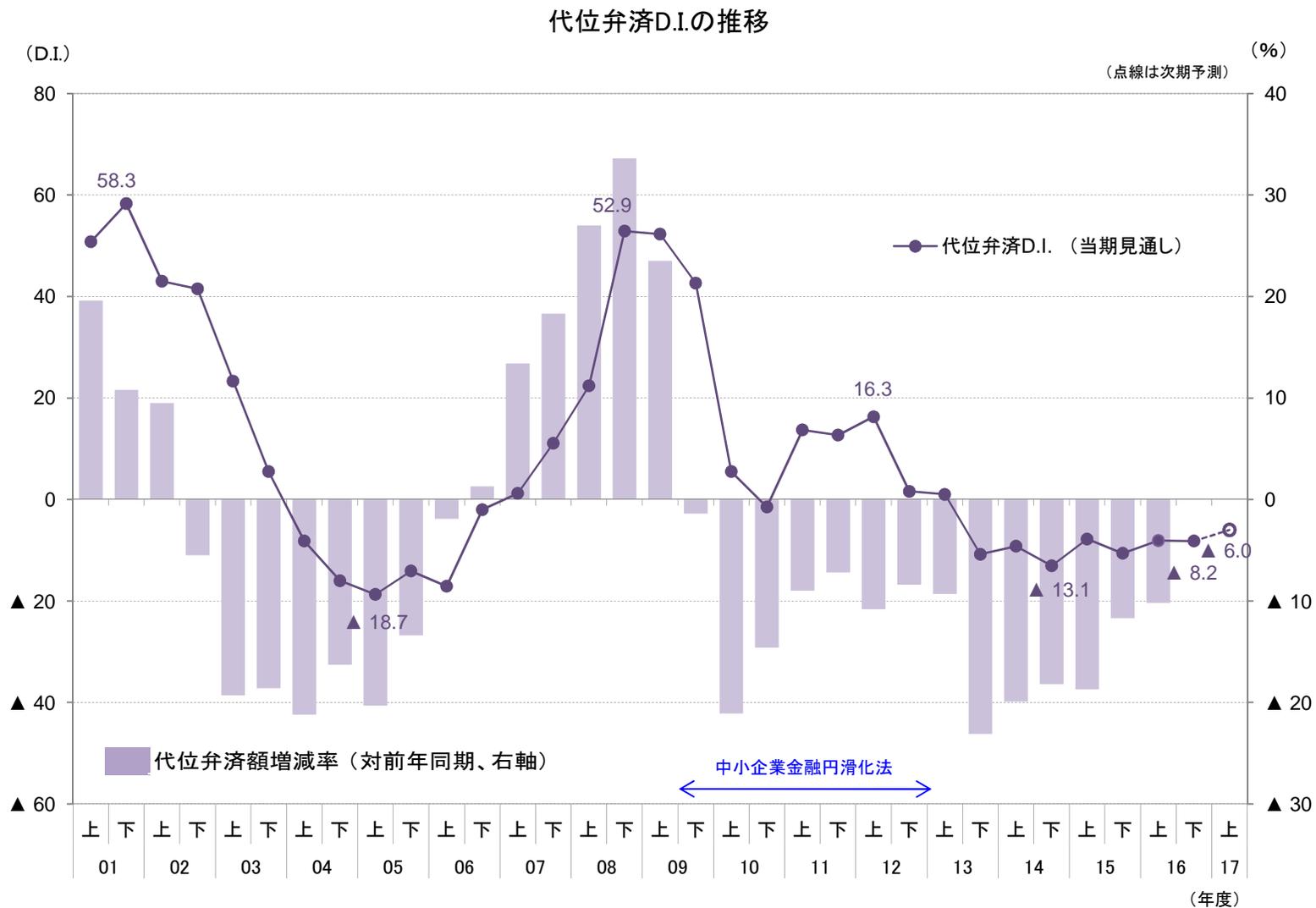
- ◆信用保証付貸出D.I.は、2011年度下期以降、11期連続でマイナス。次期はマイナス幅がやや縮小の見込み。
- ◆信用保証付貸出に対するマイナス金利の影響は、「2016年度下期の見通し」については、前回調査(2016年度上期調査)と比べて「減少の影響」と回答した金融機関が増加(16.8%→24.7%)。
- ◆信用保証付貸出における条件変更D.I.は、2012年度下期以降、9期連続でマイナス。次期は、横ばいの見込み。



2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

2. 信用保証付貸出の動向について(つづき)

◆金融機関から信用保証協会への代位弁済D.I.は、2013年度下期以降、7期連続でマイナス。次期はマイナス幅がやや縮小の見込み。

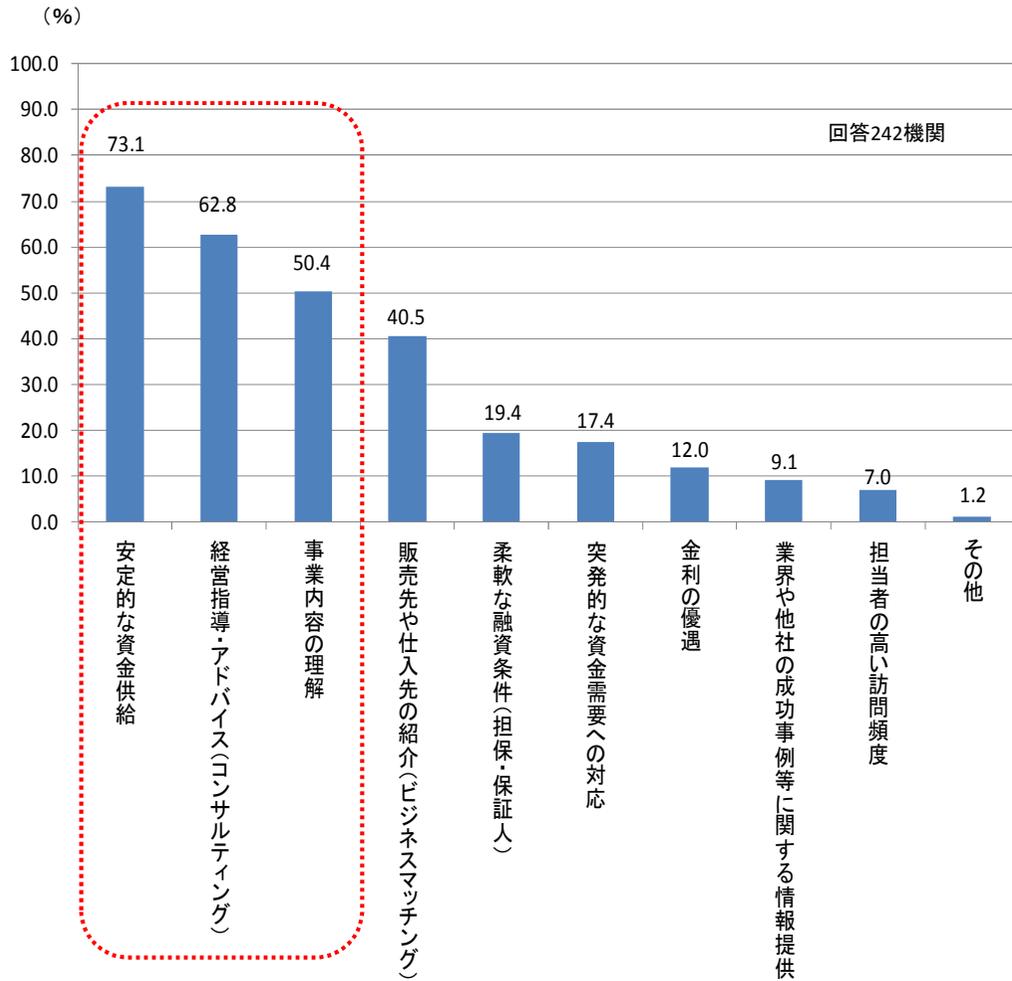


2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

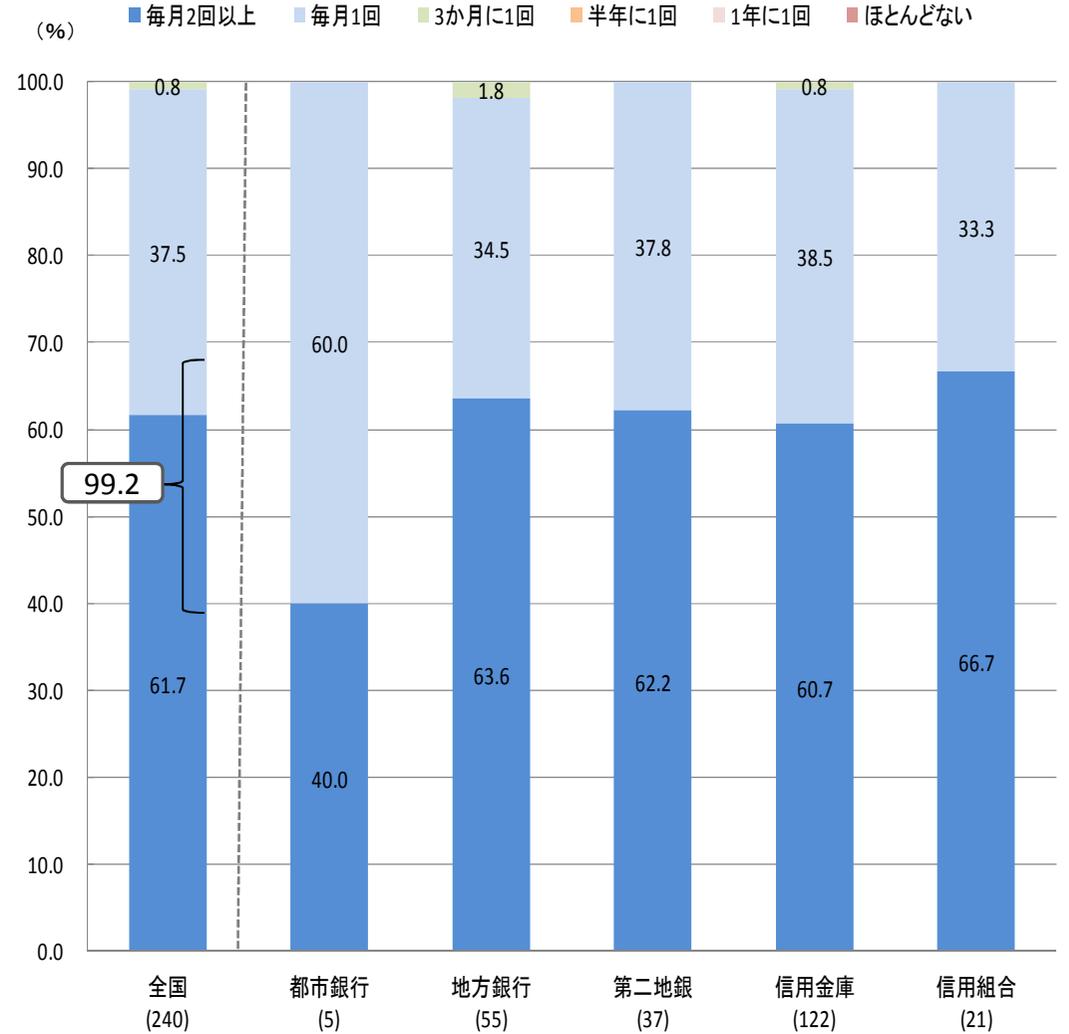
2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

- ・メインバンクとして中小企業から期待されていることは、「安定的な資金供給」が最多、次いで「経営指導・アドバイス(コンサルティング)」、「事業内容の理解」が続いている。
- ・メインバンクとなっている中小企業への接触頻度は、ほとんどの金融機関(99.2%)で毎月1回以上となっている。

メインバンクとして中小企業から期待されていること



メインバンクとなっている中小企業への接触頻度

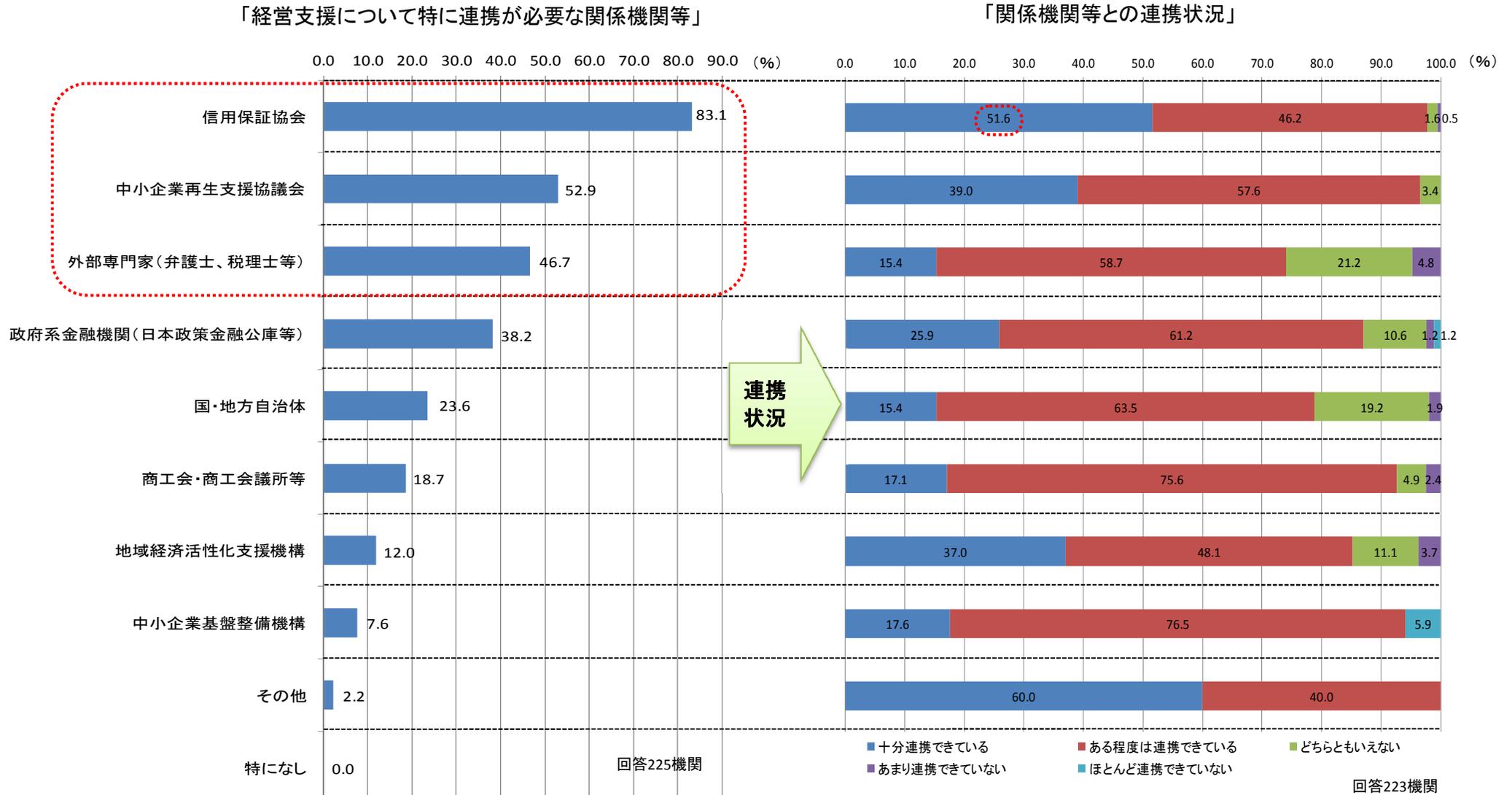


※回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

※()内は回答金融機関数

- ・経営支援について特に連携が必要な関係機関等は、「信用保証協会」が最多、次いで「中小企業再生支援協議会」、「外部専門家(弁護士、税理士等)」が続いている。
- ・また、経営支援における関係機関等との連携状況について、「十分連携できている」との回答が5割を超えている関係機関は「信用保証協会」のみとなっている。

経営支援について特に連携が必要な関係機関等及び連携状況



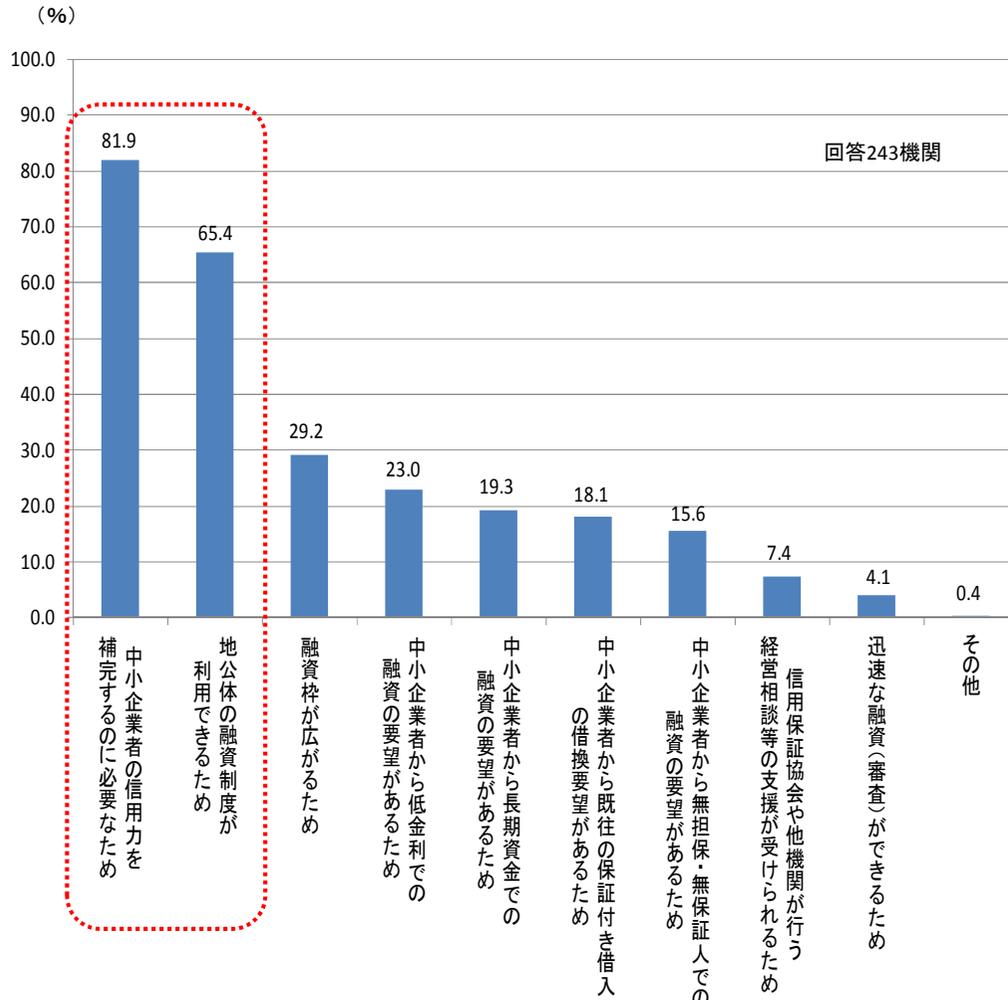
※回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

・信用保証付き融資を利用する理由については、「中小企業者の信用力を補完するのに必要なため」が最多、次いで「地公体の融資制度が利用できるため」が続いている。

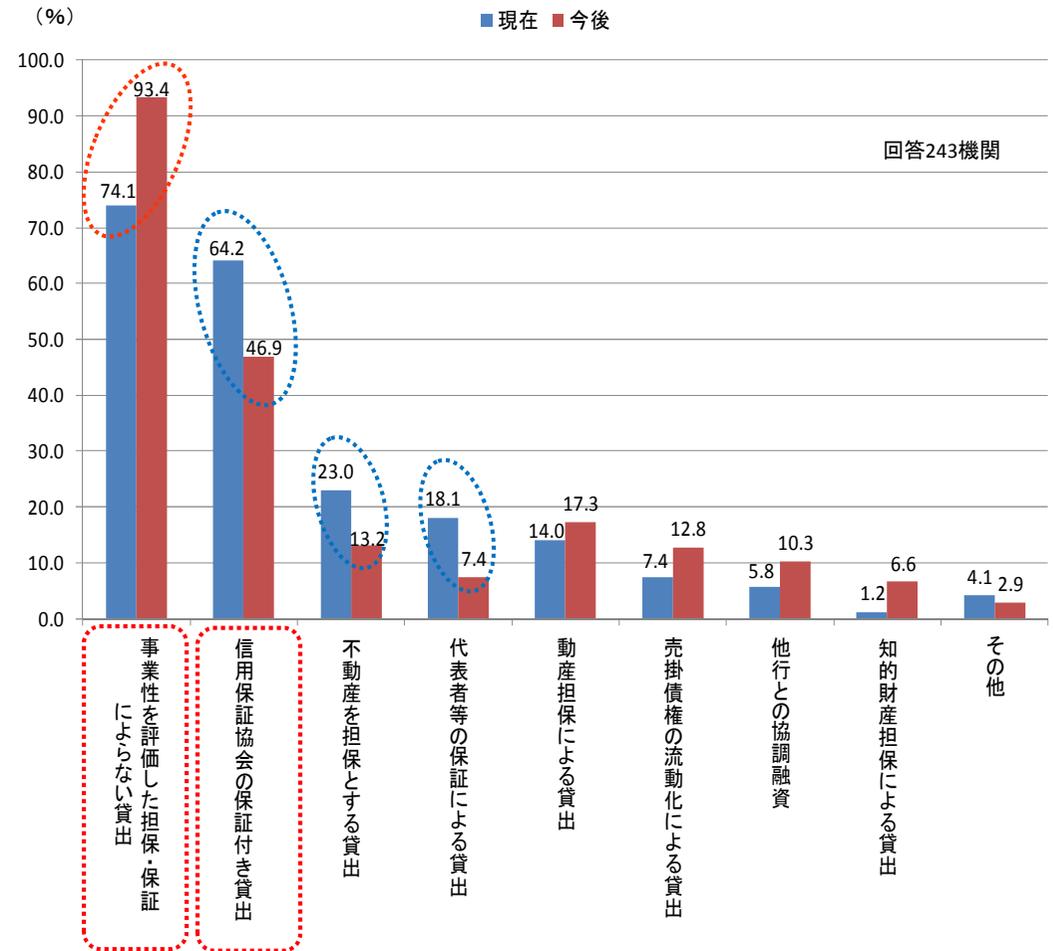
・重点的に取組む中小企業に対する貸出手法は、現在及び今後ともに「事業性を評価した担保・保証によらない貸出」が最多、次いで「信用保証協会の保証付き貸出」が続いている。

また、今後については、「事業性を評価した担保・保証によらない貸出」と回答した金融機関は増加し、一方で「信用保証協会の保証付き貸出」、「不動産を担保とする貸出」及び「代表者等の保証による貸出」は減少している。

信用保証付き融資を利用する理由



重点的に取組む中小企業に対する貸出手法(現在及び今後)



※回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

参考編

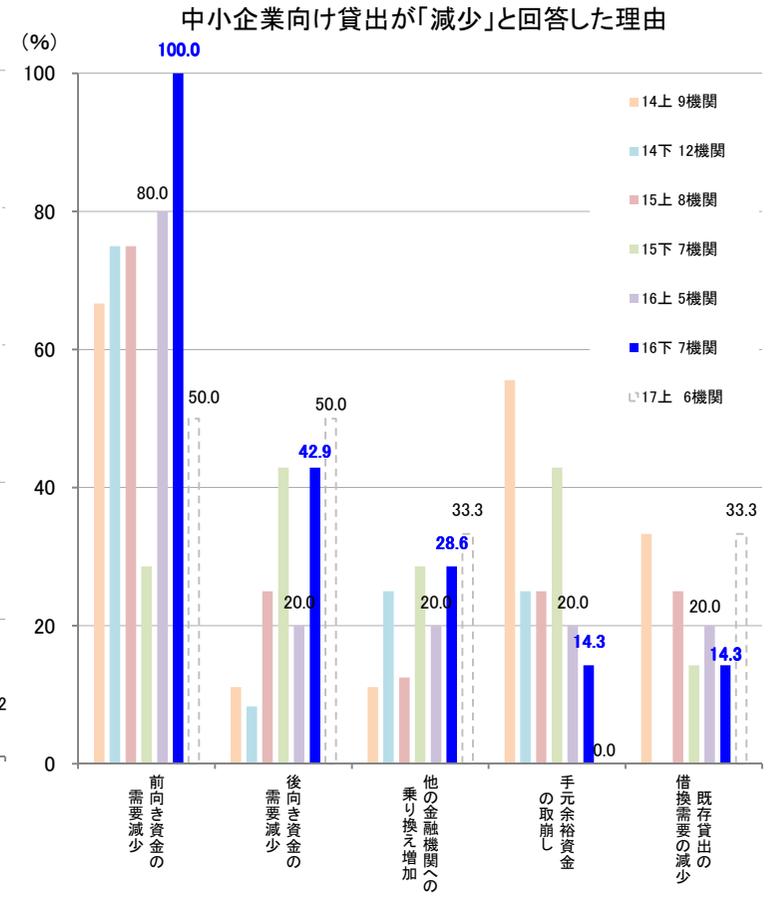
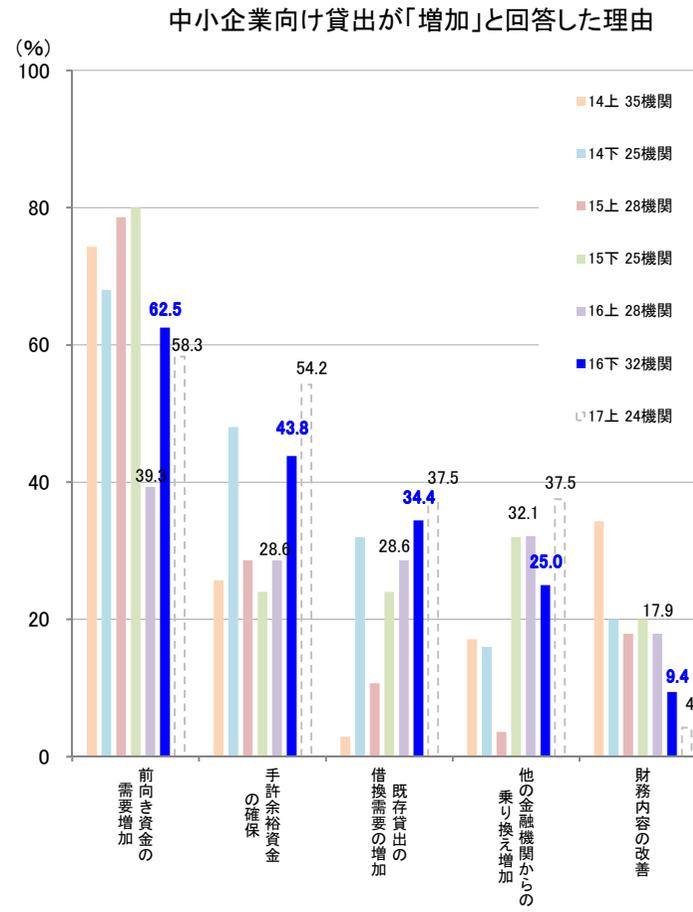
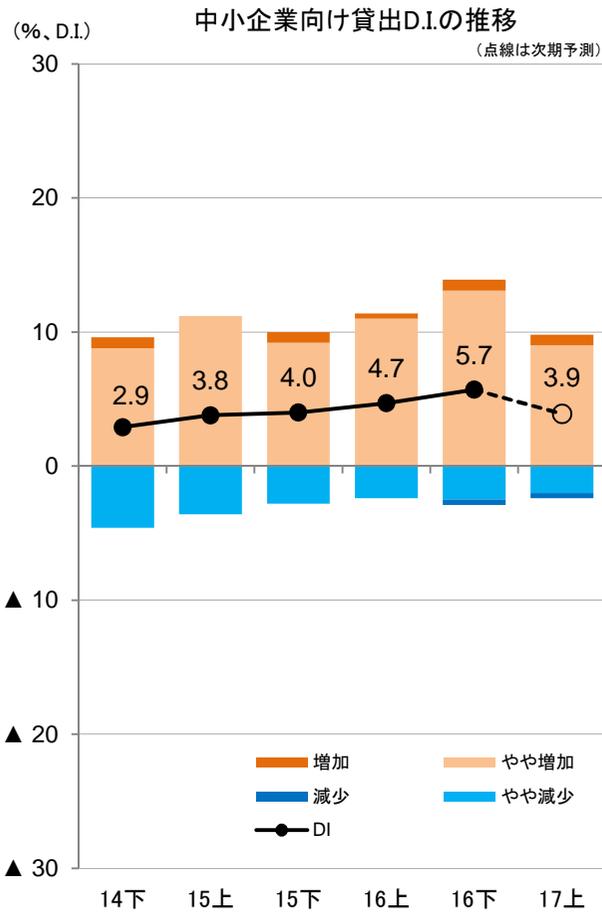
1. 中小企業向け貸出の動向について

2016年度下期において中小企業向け貸出が「増加」または「減少」と回答した金融機関に、その理由について尋ねた。

【増加理由】・「前向き資金の需要増加」が最多、次いで「手許余裕資金の確保」、「既存貸出の借換需要の増加」が続いている。

【減少理由】・「前向き資金の需要減少」が最多(7機関のうち、7機関が回答)。

● 中小企業向け貸出D.I.の推移及び増減理由

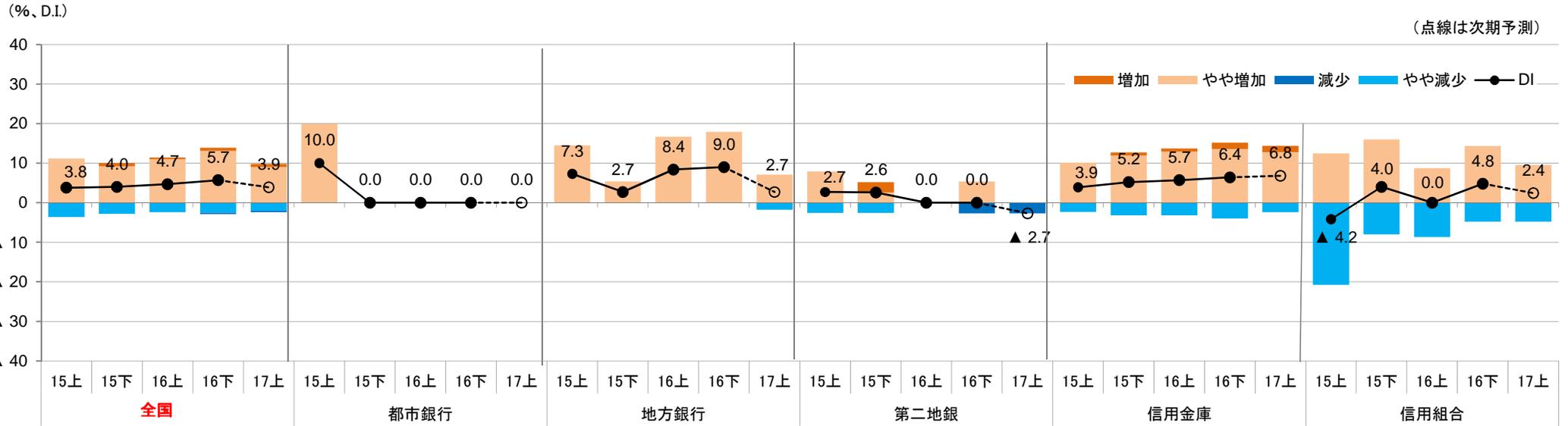


※回答率(%)は、「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。

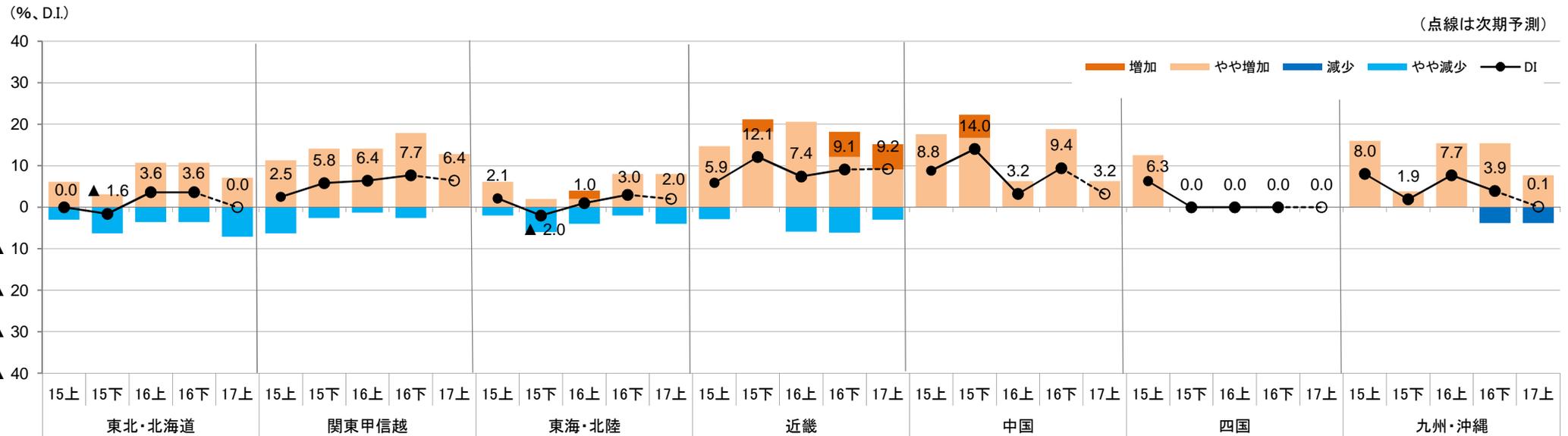
定例調査

1. 中小企業向け貸出の動向について(つづき)

●中小企業向け貸出D.I.の推移(金融機関業態別)



●中小企業向け貸出D.I.の推移(地域別)



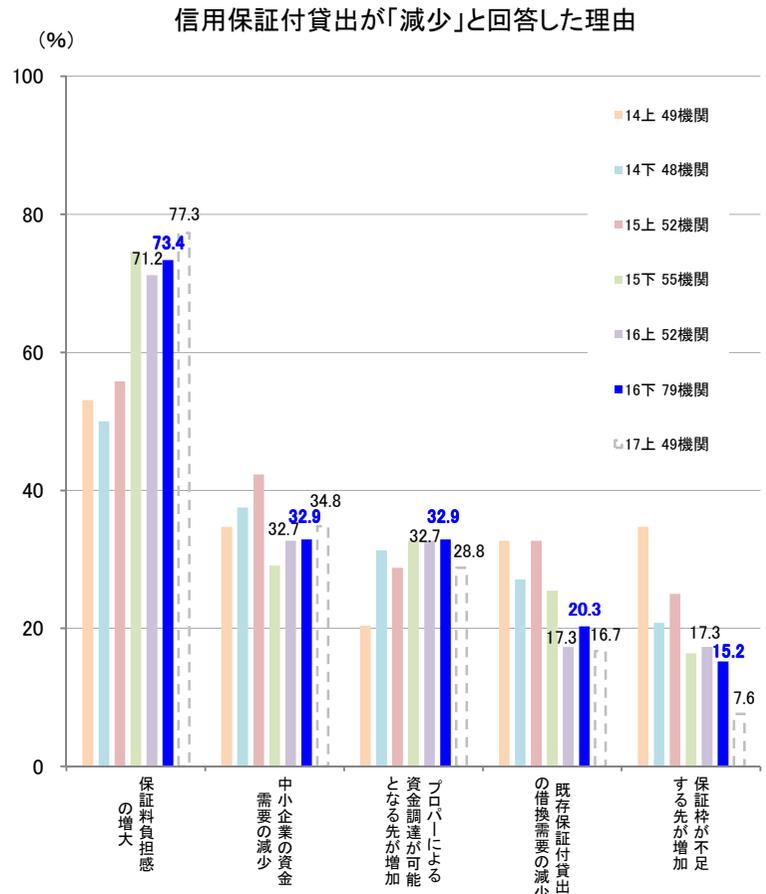
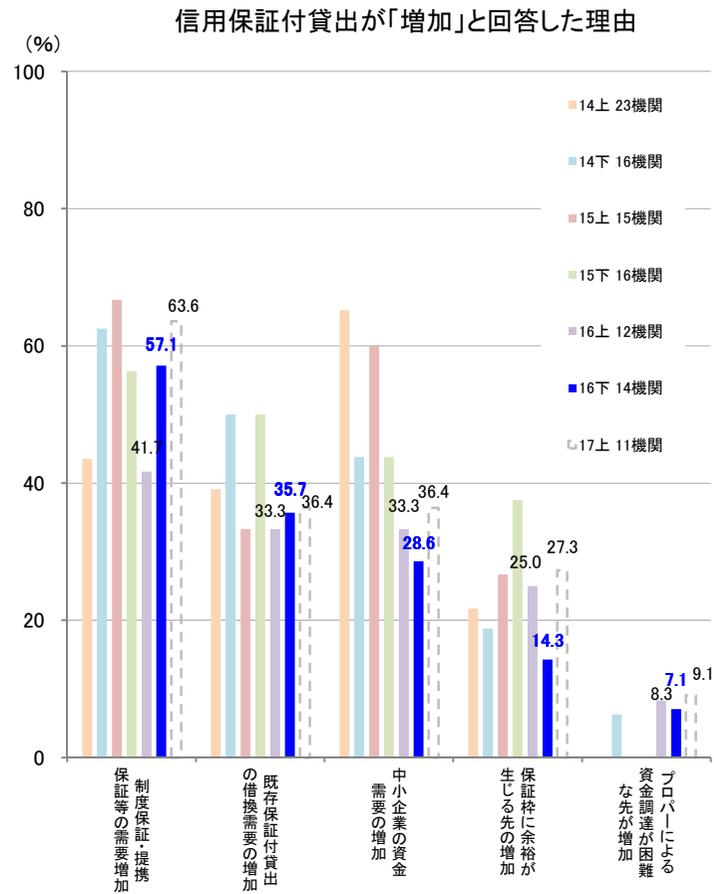
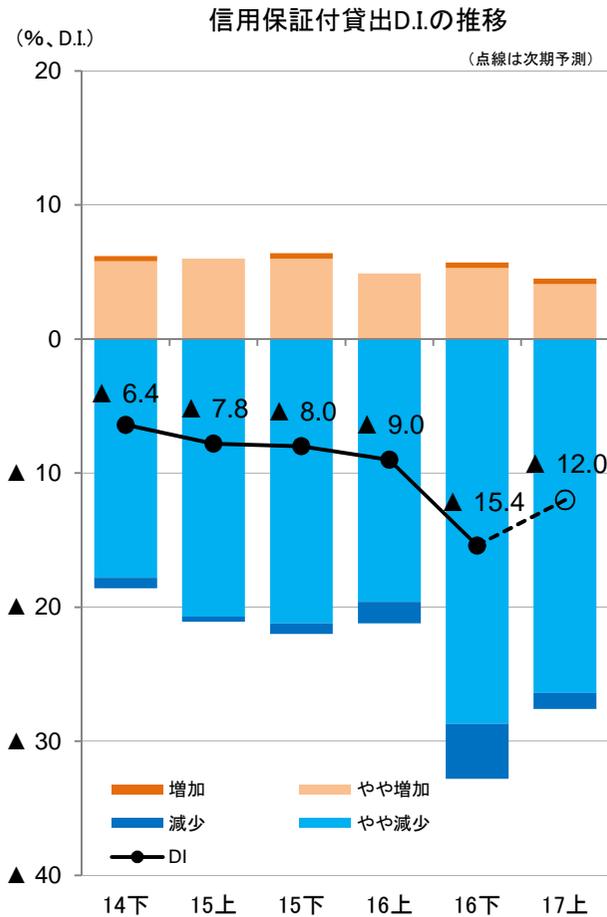
定例調査

2. 信用保証付貸出の動向について

2016年度下期における信用保証付貸出が「増加」または「減少」と回答した金融機関に、その理由について尋ねた。

【増加理由】・「制度保証・提携保証等の需要増加」が最多(14機関のうち、8機関が回答)。
 次いで「既存保証付貸出の借換需要増加」、「中小企業の資金需要の増加」が続いている。
 【減少理由】・低金利下での保証料の割高感を反映し、2014年度上期以降、「保証料負担感の増大」が6期連続で最多。

● 信用保証付貸出D.I.の推移及び増減理由



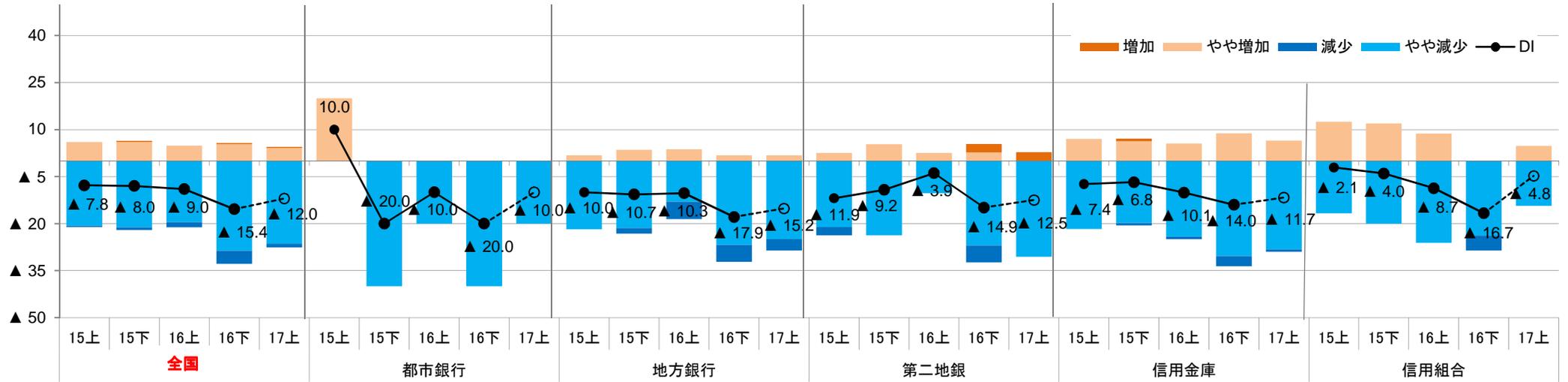
※回答率(%)は、「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。

2. 信用保証付貸出の動向について(つづき)

●信用保証付貸出D.I.の推移(金融機関業態別)

(%, D.I.)

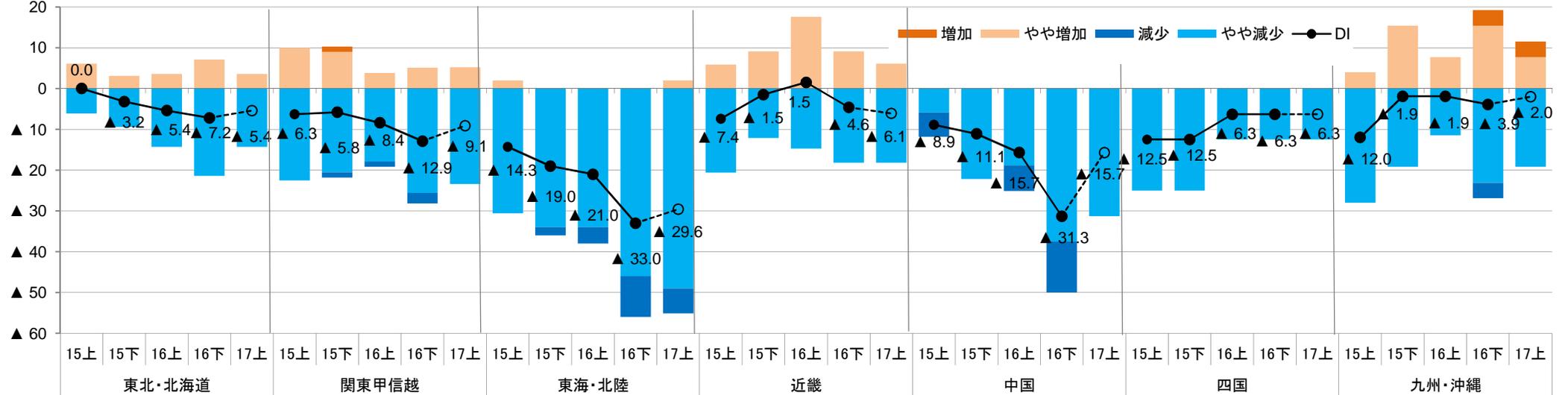
(点線は次期予測)



●信用保証付貸出D.I.の推移(地域別)

(%, D.I.)

(点線は次期予測)



定例調査

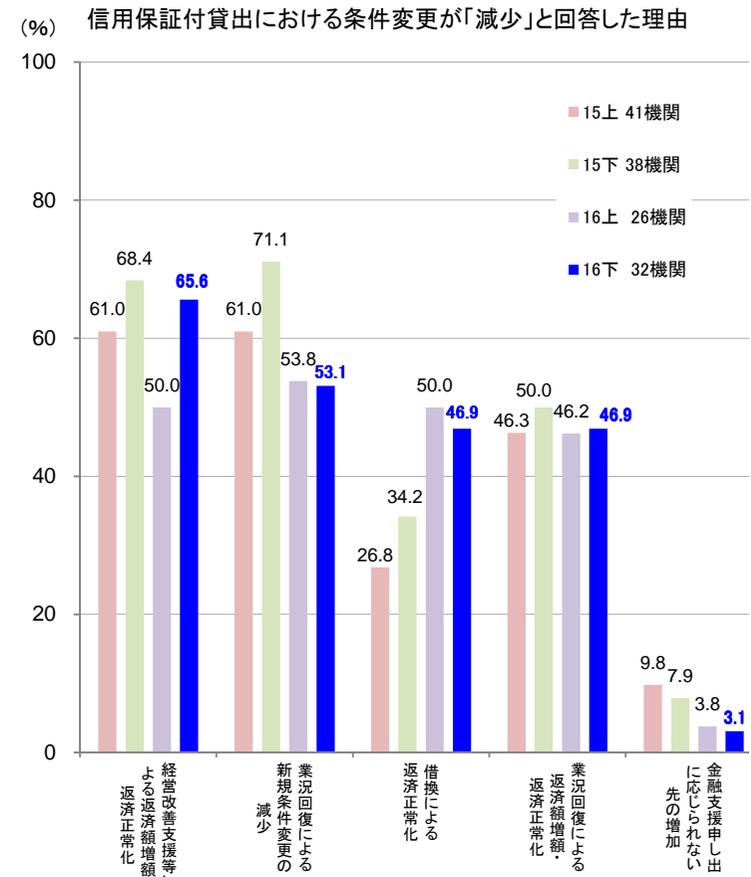
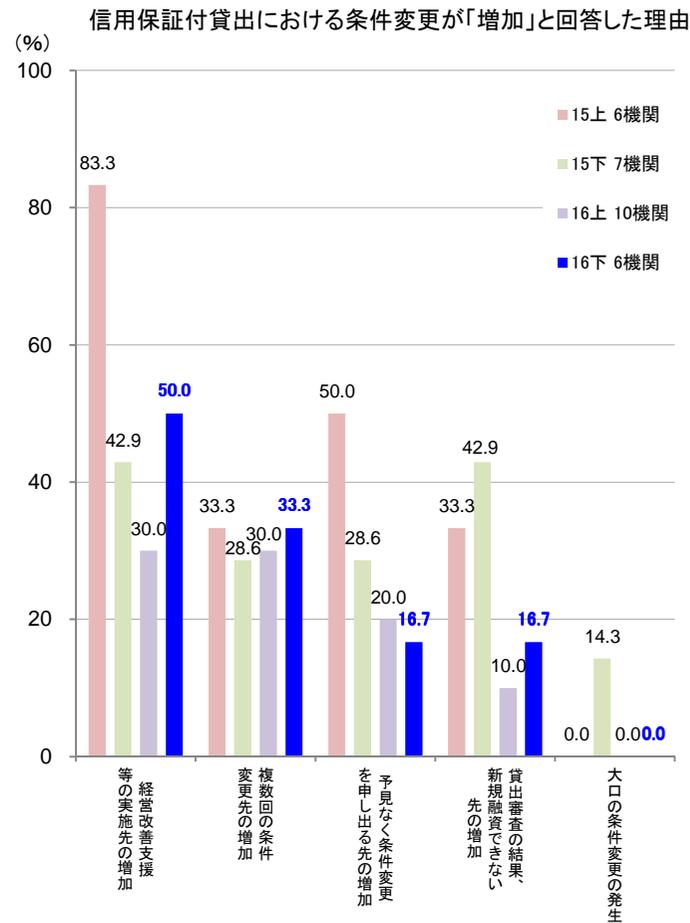
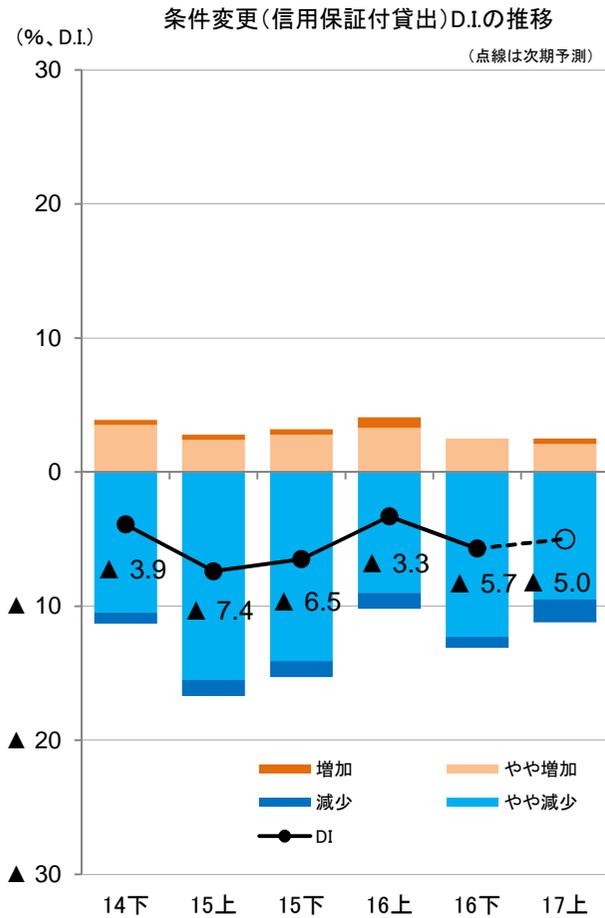
3. 信用保証付貸出における条件変更の動向について

2016年度下期における信用保証付貸出における条件変更が「増加」または「減少」と回答した金融機関に、その理由について尋ねた。

【増加理由】・「経営改善支援等の実施先の増加」が最多(6機関のうち、3機関が回答)。

【減少理由】・「経営改善支援等による返済額増額・返済正常化」が最多(32機関のうち、21機関が回答)。

● 条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移及び増減理由

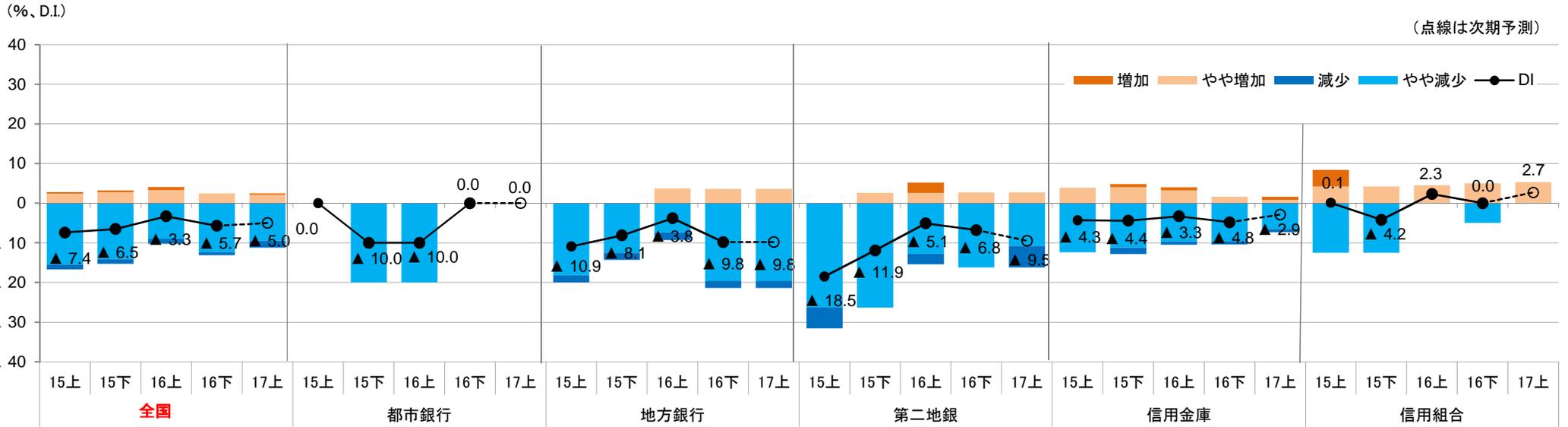


※回答率(%)は、「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。

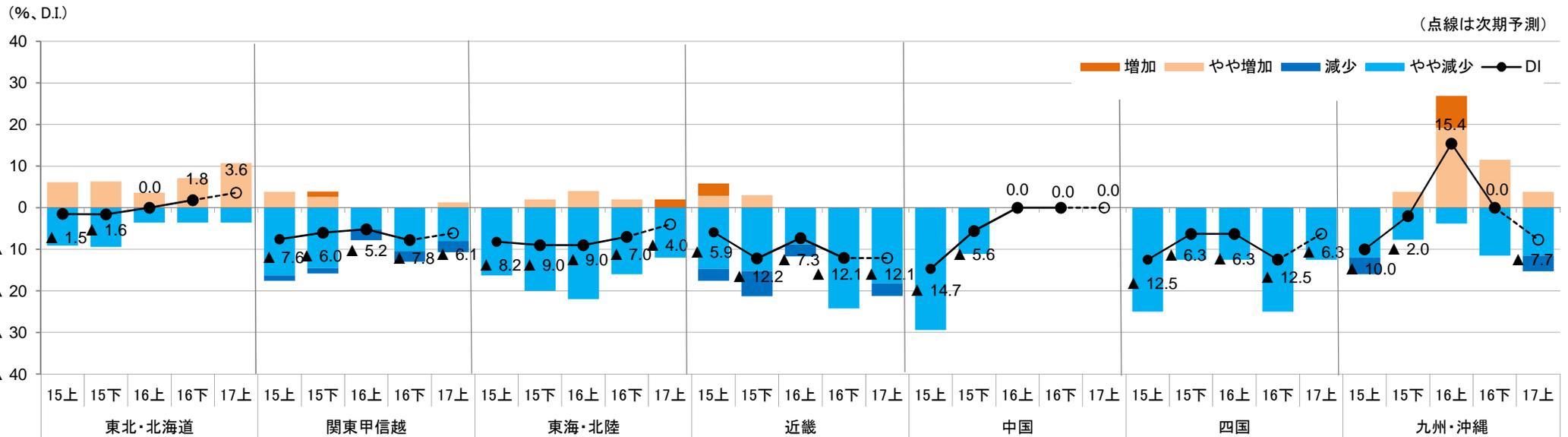
定例調査

3. 信用保証付貸出における条件変更の動向について(つづき)

●条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移(金融機関業態別)



●条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移(地域別)



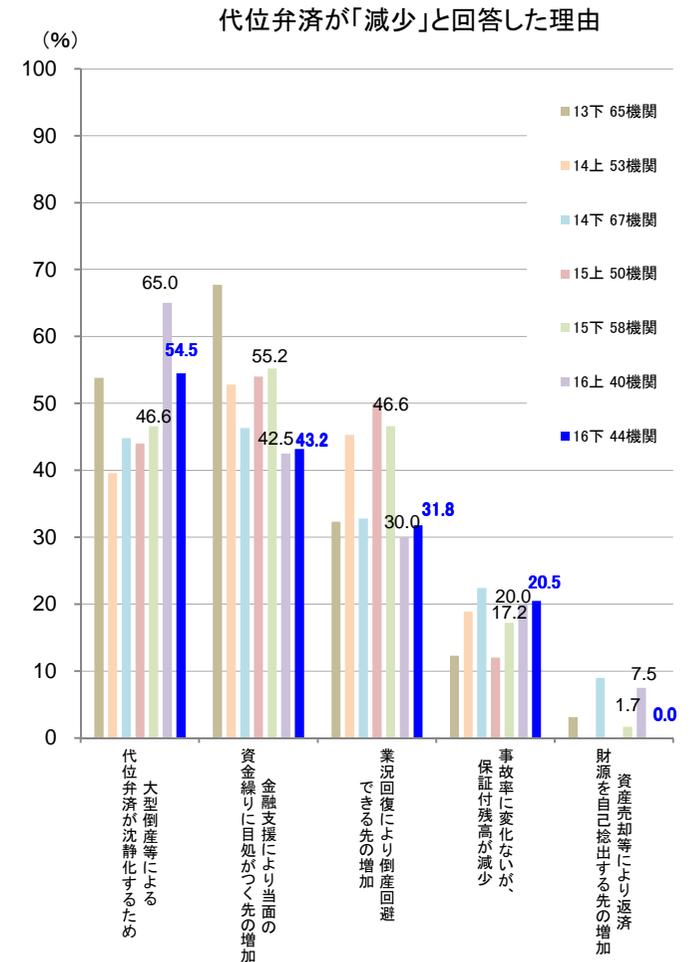
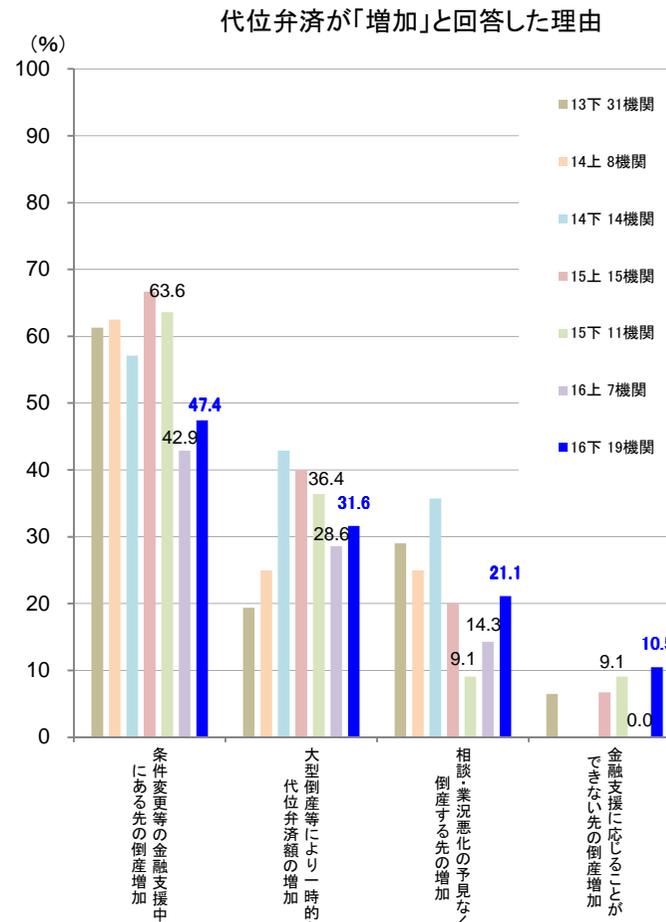
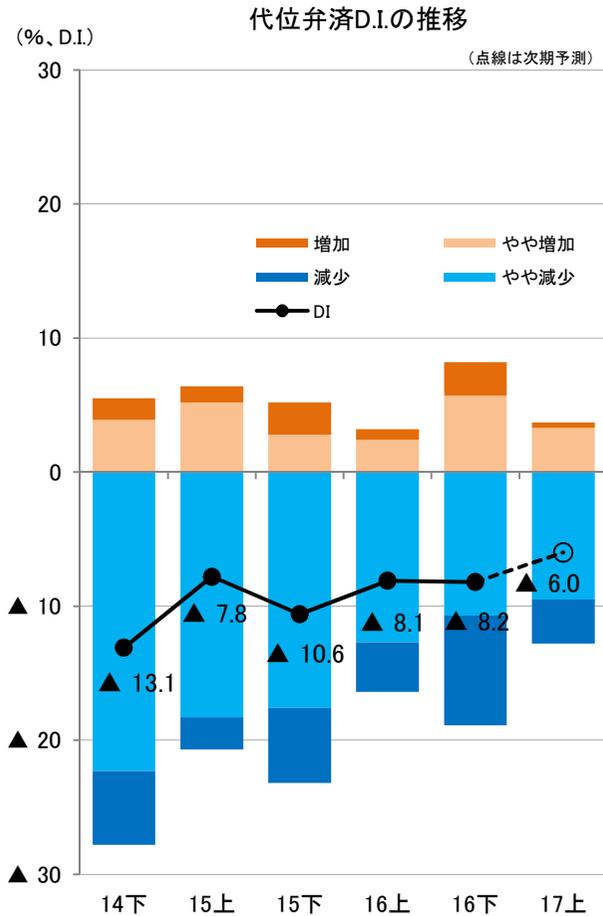
4. 金融機関から信用保証協会への代位弁済請求の動向について

2016年度下期における金融機関から信用保証協会への代位弁済請求が「増加」または「減少」と回答した金融機関に、その理由について尋ねた。

【増加理由】・「条件変更等の金融支援中にある先の倒産増加」が最多(19機関のうち、9機関が回答)。

【減少理由】・「大型倒産等による代位弁済が沈静化するため」が最多。次いで「金融支援により当面の資金繰りに目処がつく先の増加」、「業況回復により倒産回避できる先の増加」が続いている。

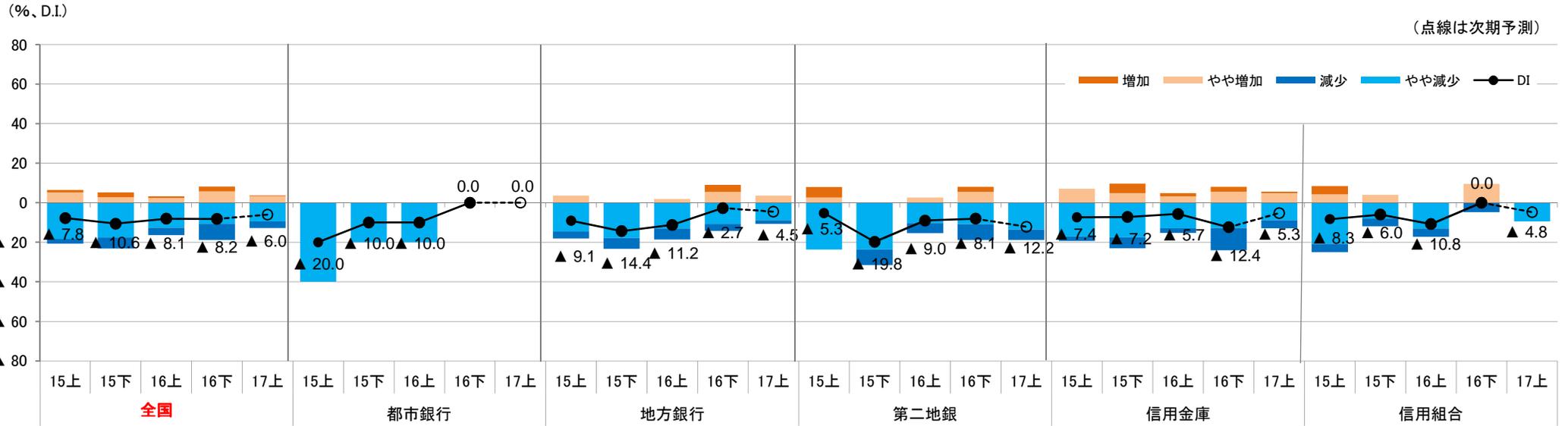
● 代位弁済D.I.の推移及び増減理由



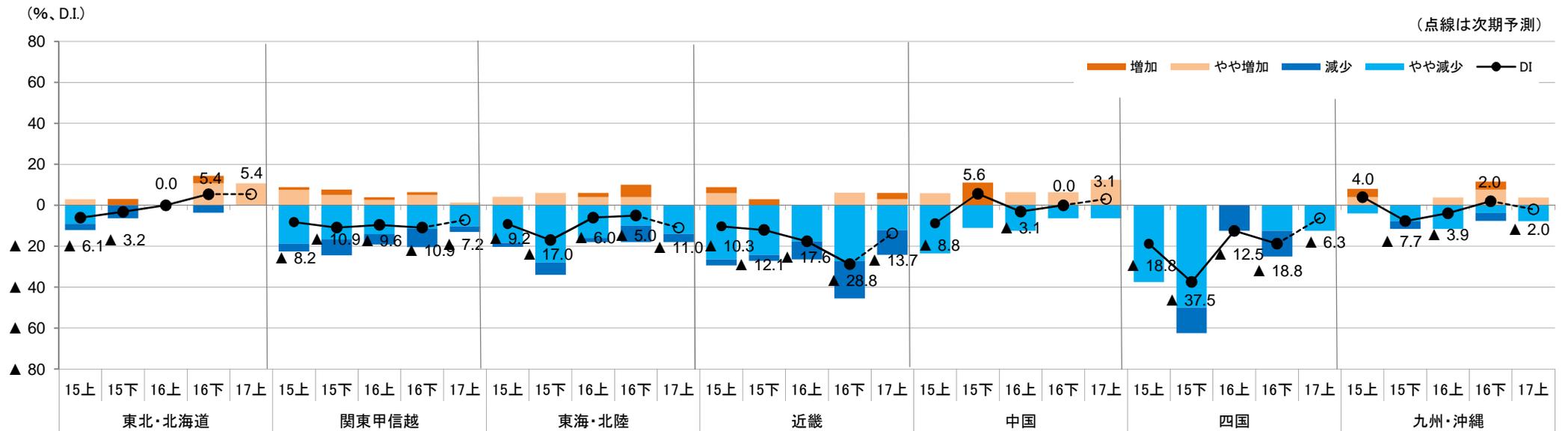
※回答率(%)は、「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。

4. 金融機関から信用保証協会への代位弁済請求の動向について(つづき)

●代位弁済D.I.の推移(金融機関業態別)

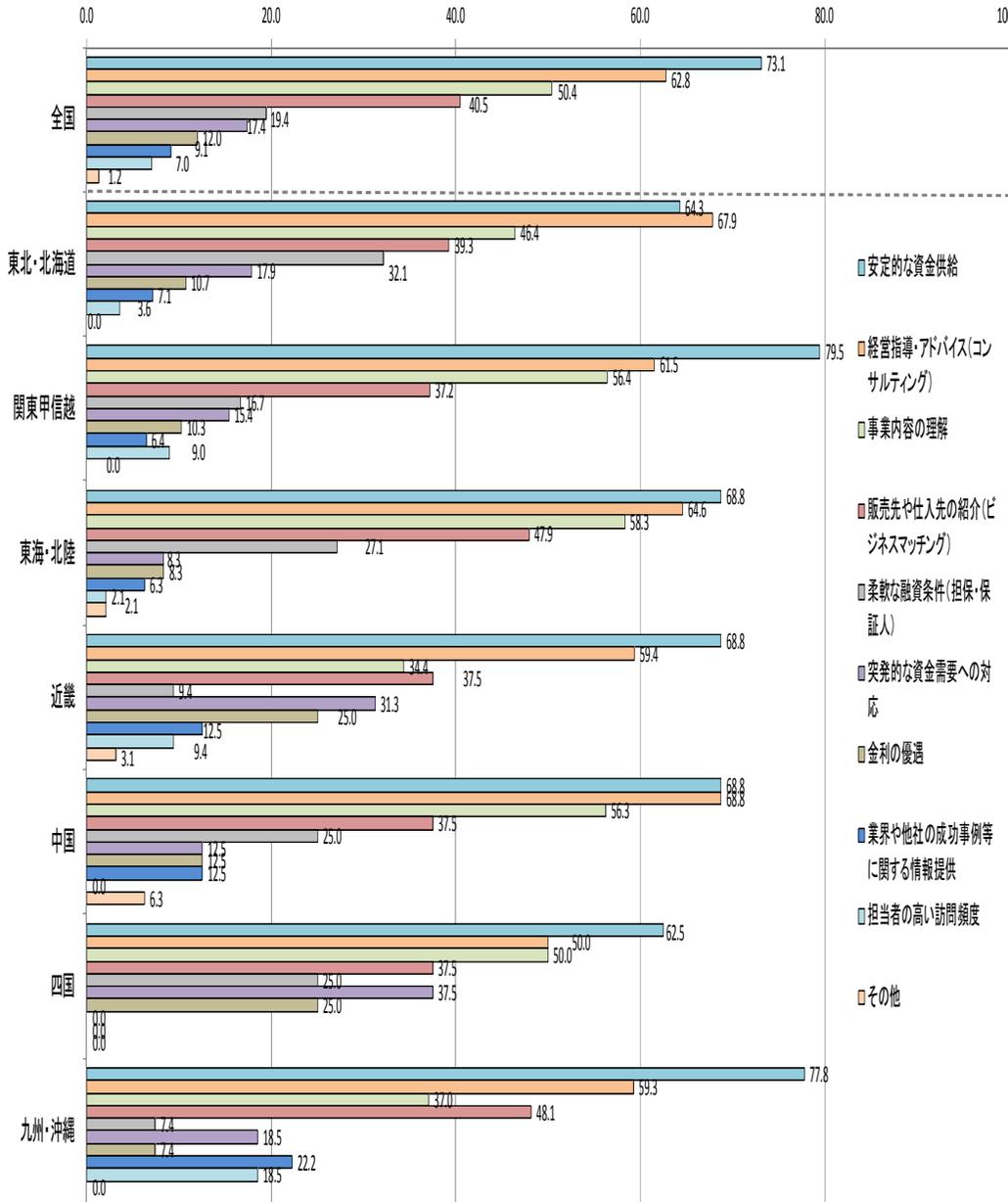


●代位弁済D.I.の推移(地域別)



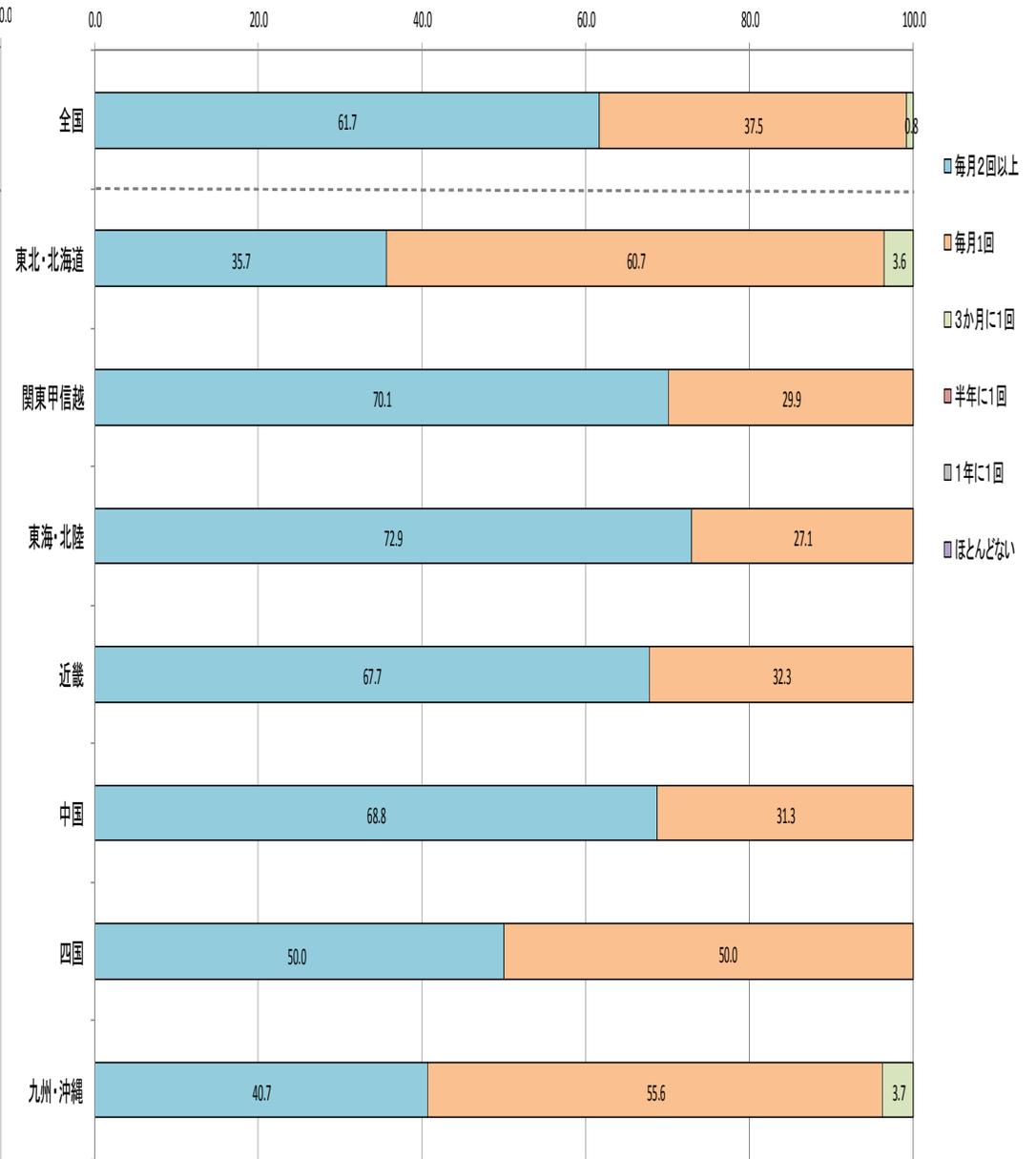
メインバンクとして中小企業から期待されていること(地域別)

(%)



メインバンクとなっている中小企業への接触頻度(地域別)

(%)



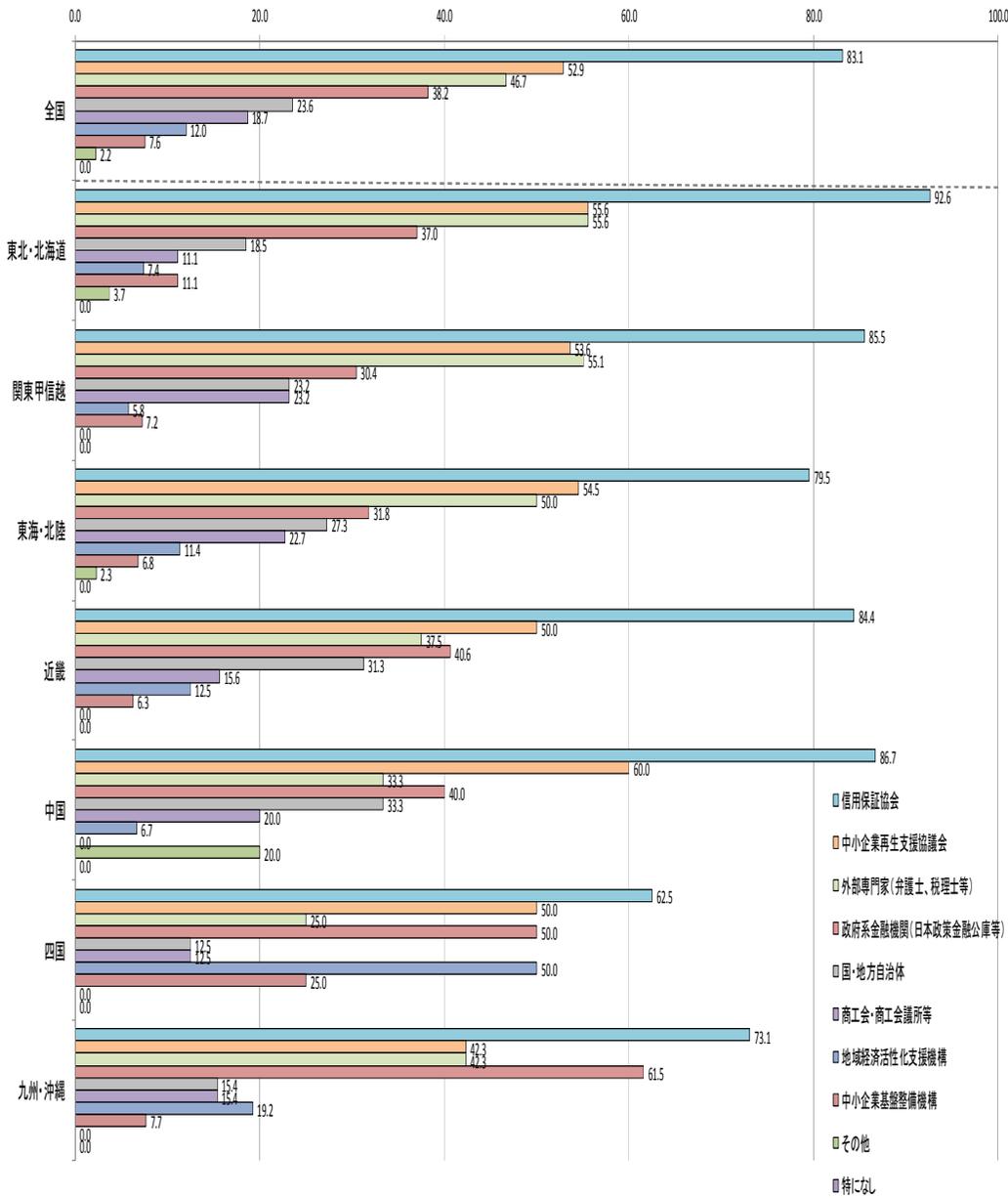
※回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

特別調査

中小企業金融に係る取組みについて(つづき)

経営支援について特に連携が必要な関係機関等(地域別)

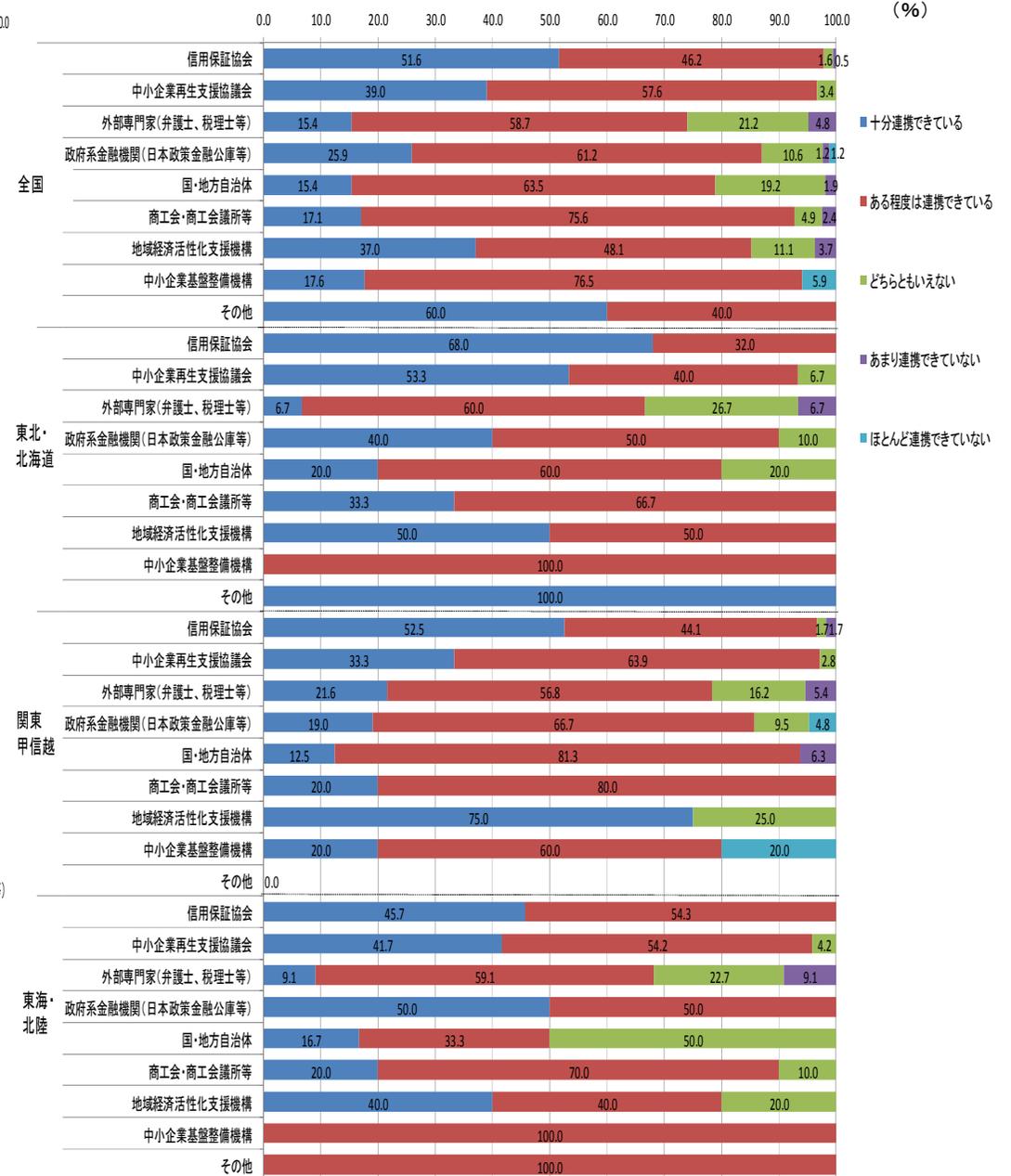
(%)



※回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

経営支援について特に連携が必要な関係機関等との連携状況(地域別1)

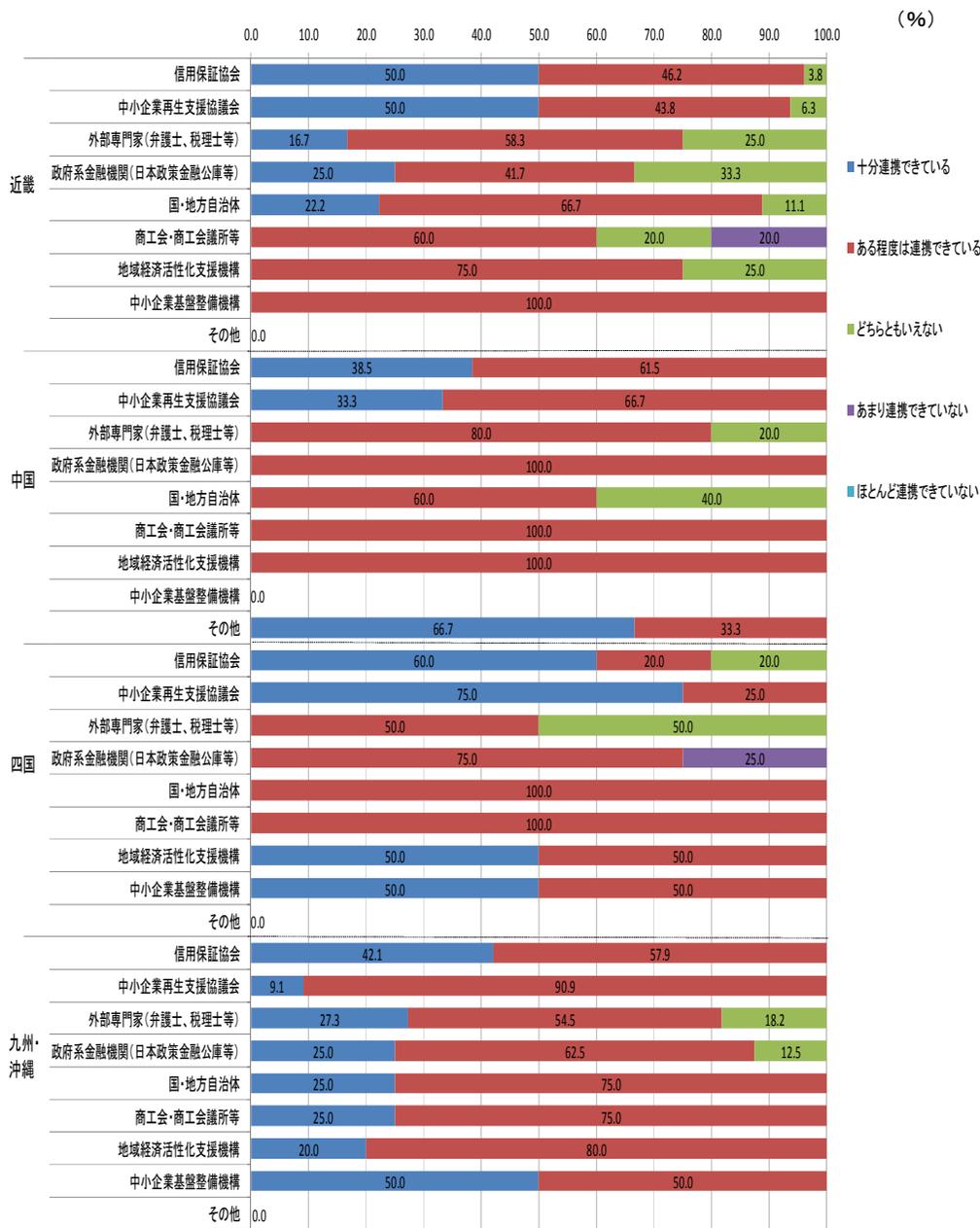
(%)



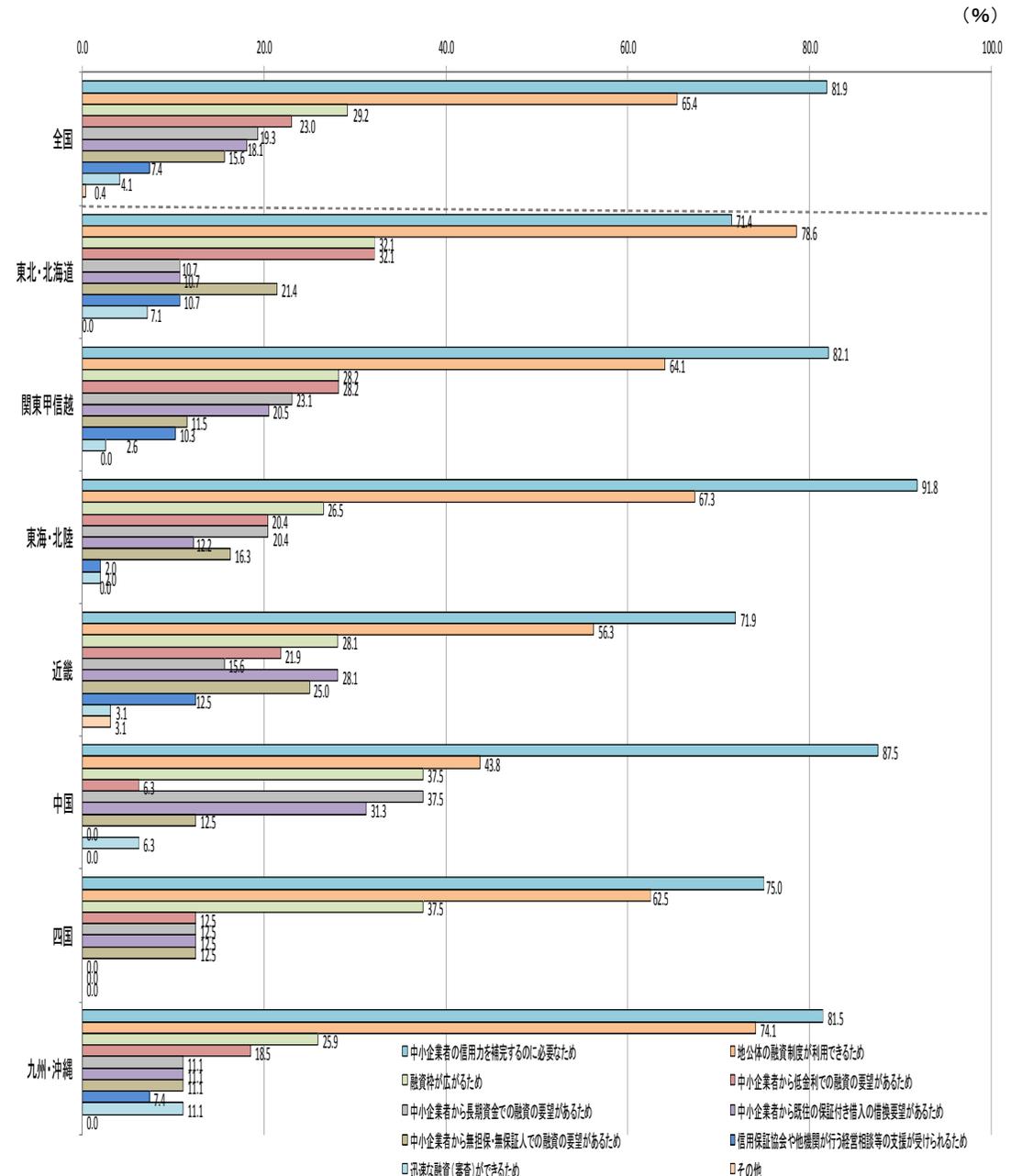
特別調査

中小企業金融に係る取組みについて(つづき2)

経営支援について特に連携が必要な関係機関等との連携状況(地域別2)

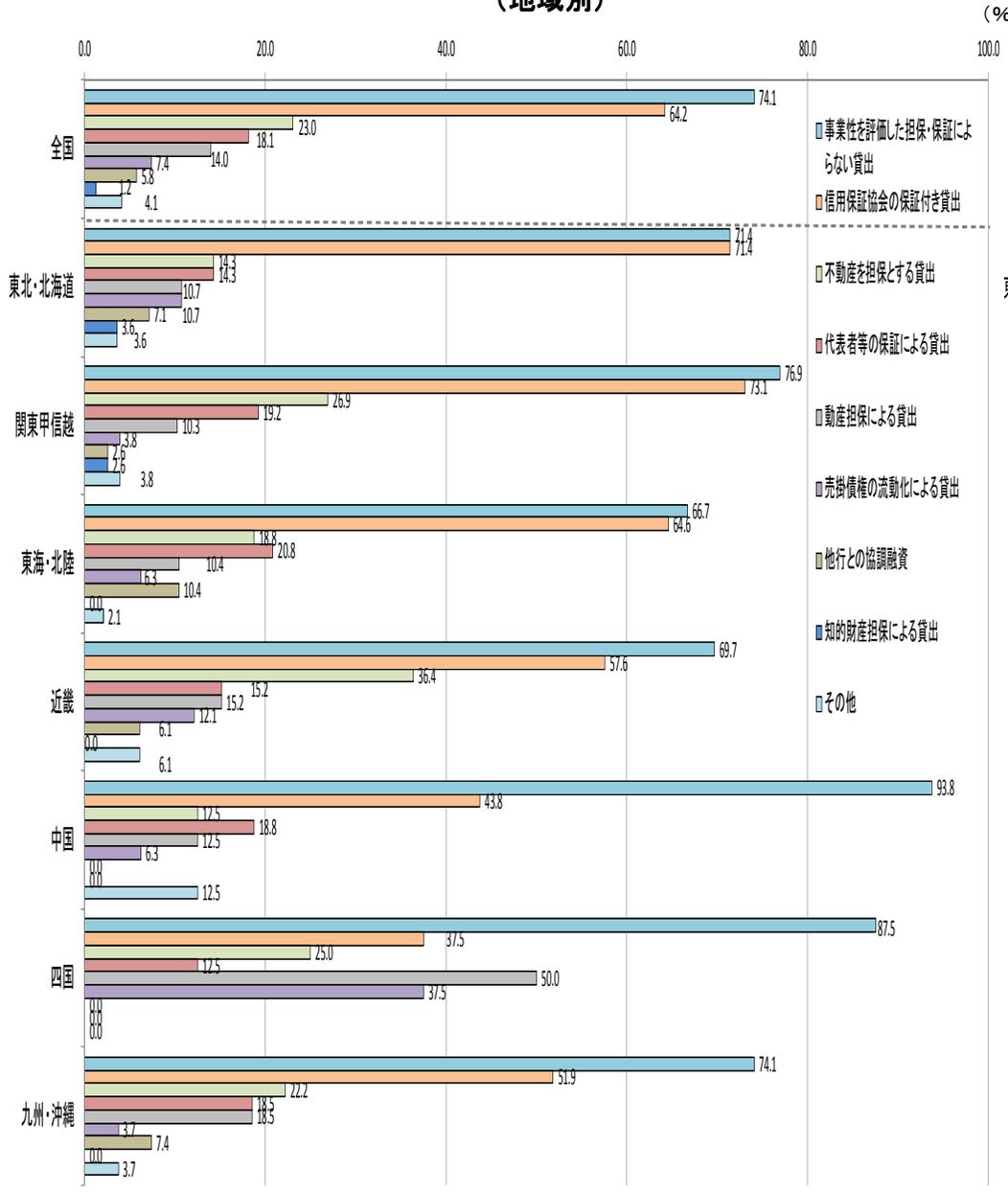


信用保証付き融資を利用する理由(地域別)

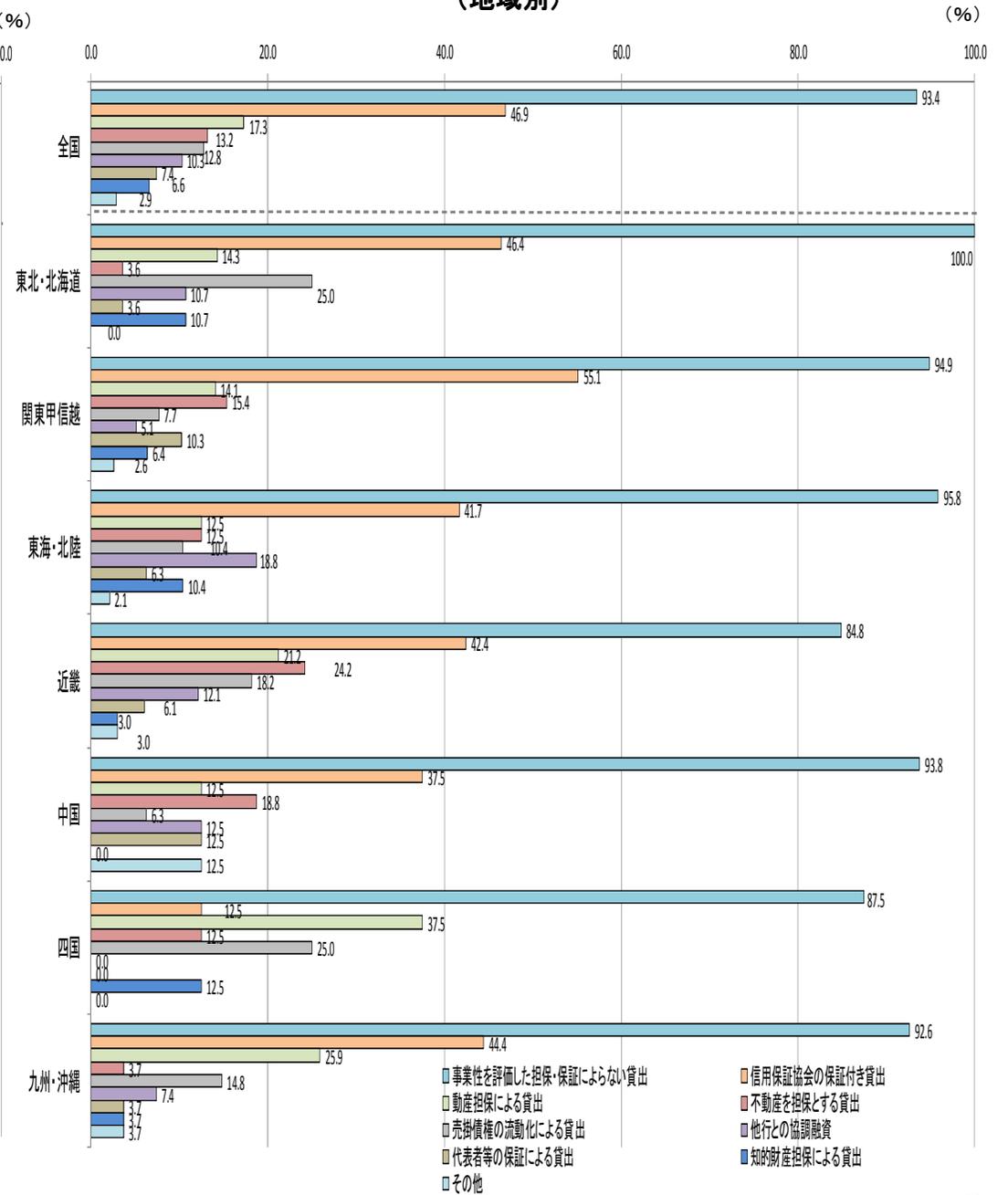


※回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

重点的に取組む中小企業に対する貸出手法(現在)
(地域別)



重点的に取組む中小企業に対する貸出手法(今後)
(地域別)

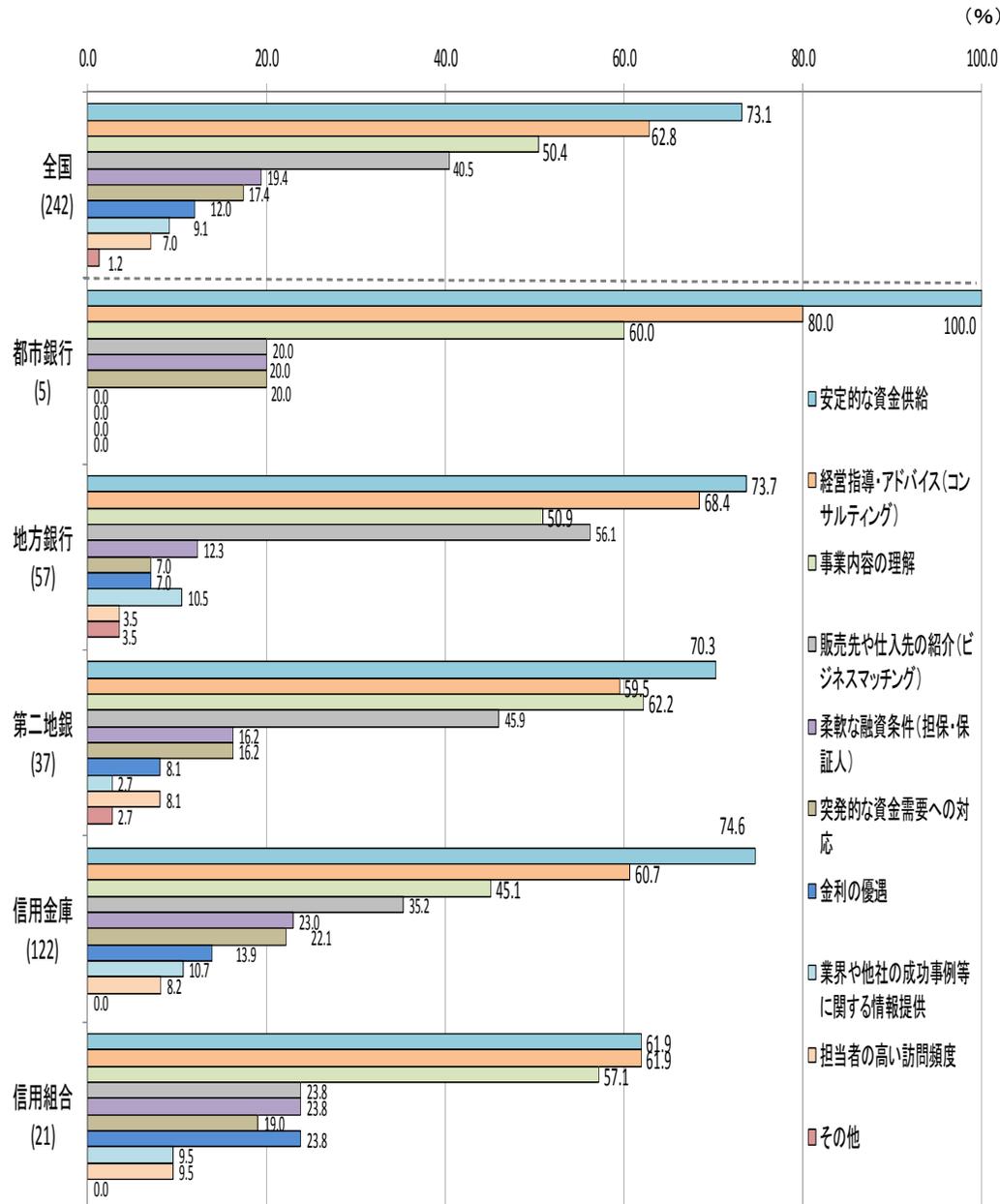


※回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

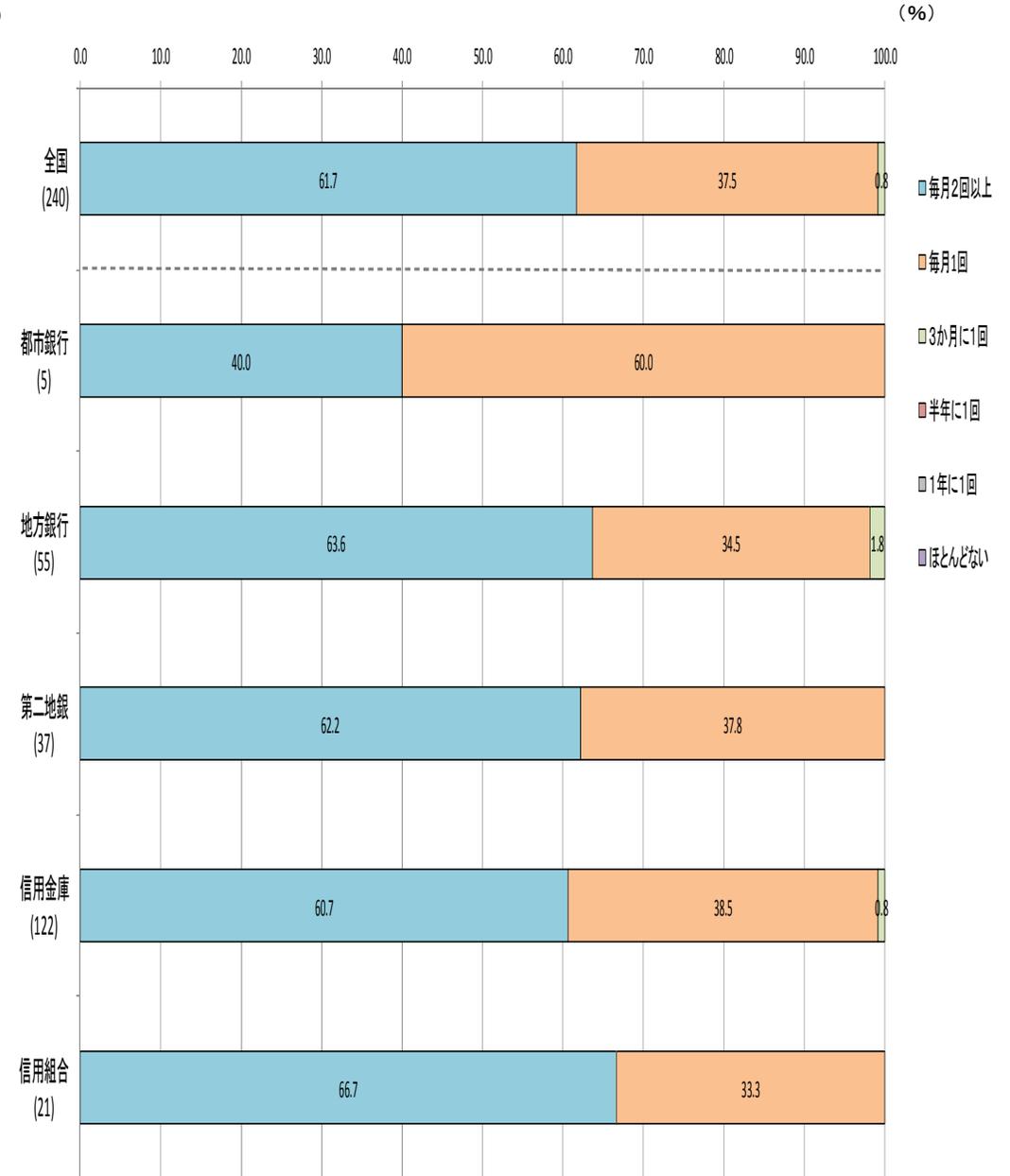
特別調査

中小企業金融に係る取組みについて(つづき4)

メインバンクとして中小企業から期待されていること(金融機関業態別)



メインバンクとなっている中小企業への接触頻度(金融機関業態別)

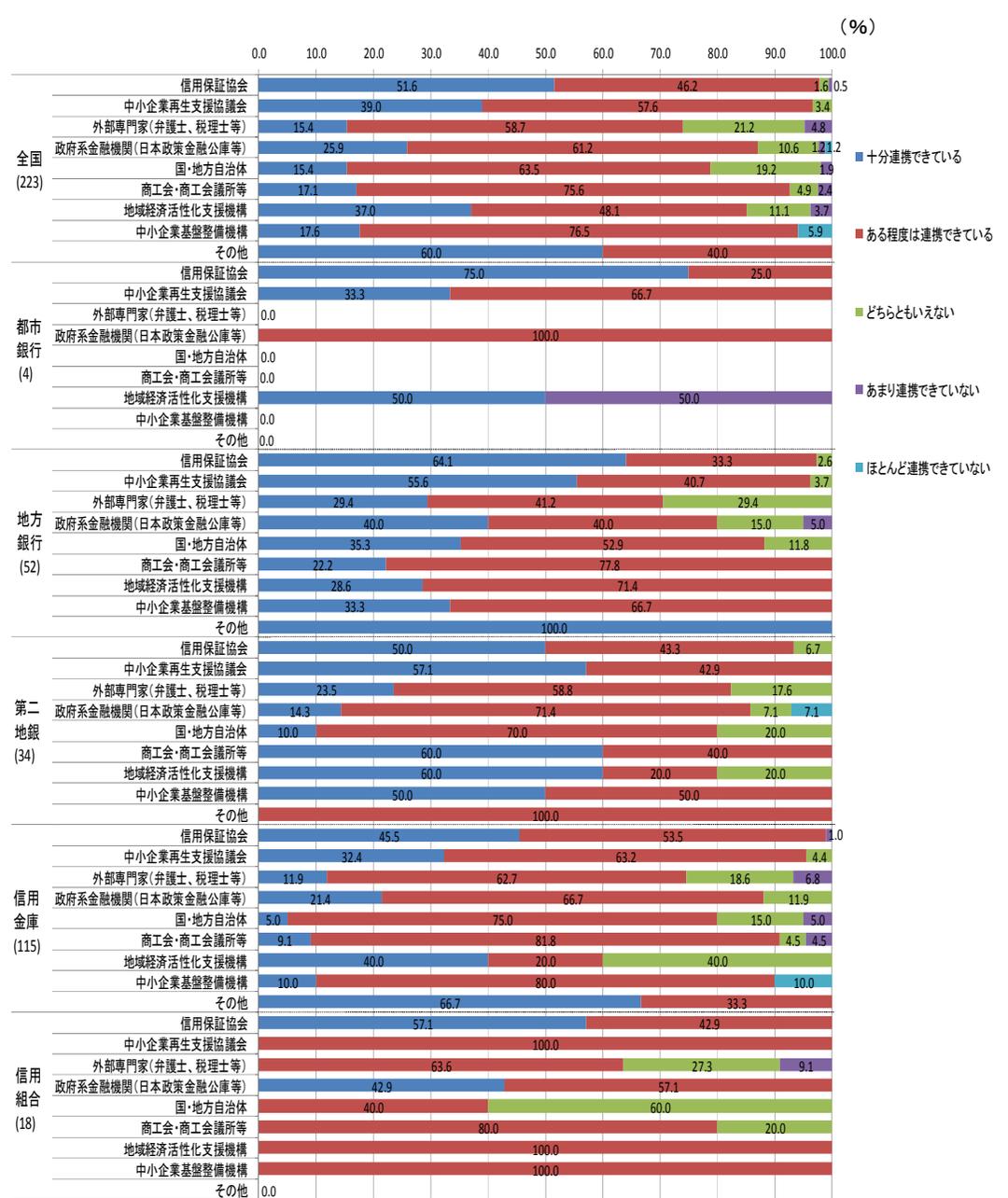
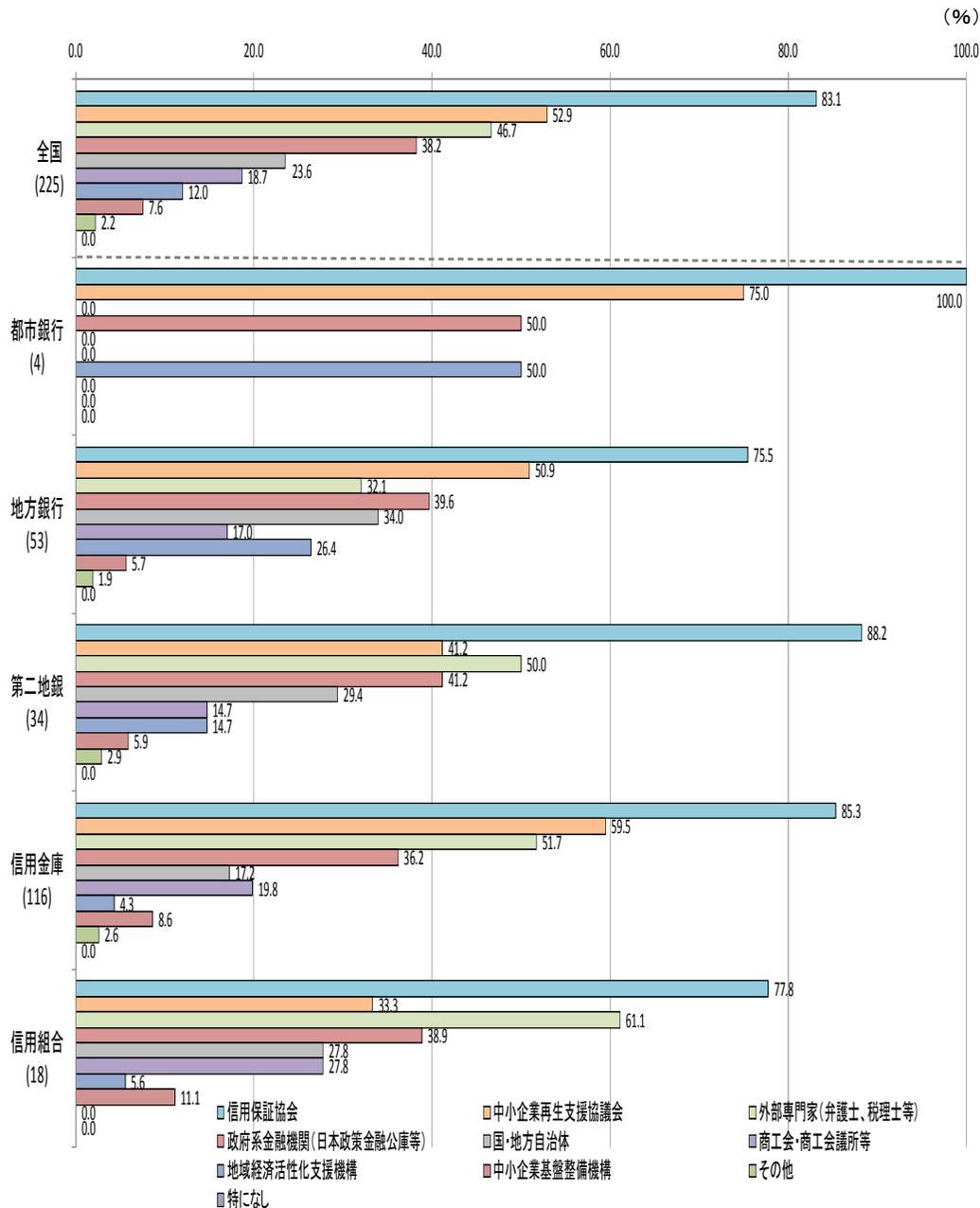


※1、()内は回答金融機関数 ※2、回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

※1、()内は回答金融機関数

経営支援について特に連携が必要な関係機関等(金融機関業態別)

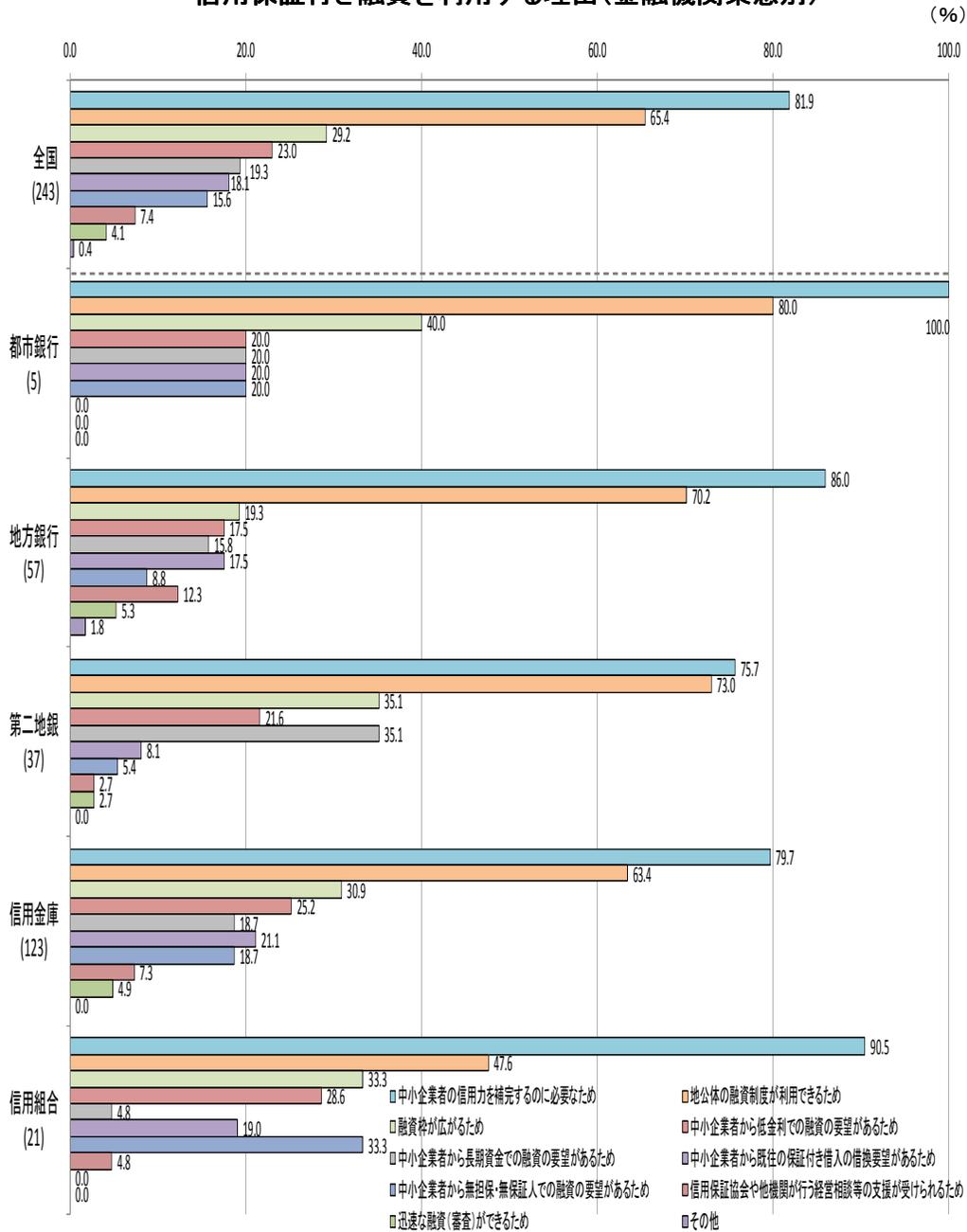
経営支援について特に連携が必要な関係機関等との連携状況(金融機関業態別)



※1、()内は回答金融機関数 ※2、回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

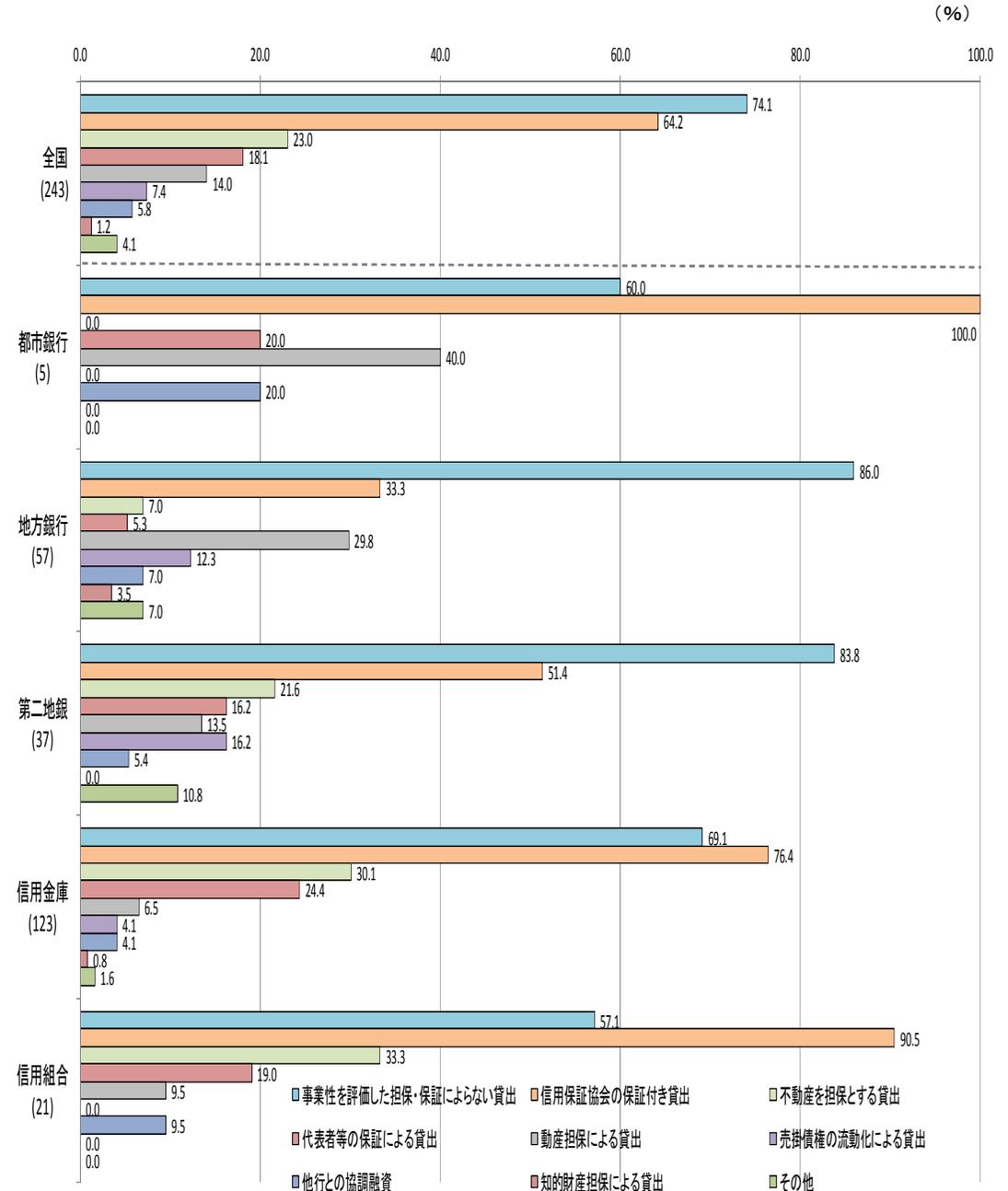
※()内は回答金融機関数

信用保証付き融資を利用する理由(金融機関業態別)



※1、()内は回答金融機関数

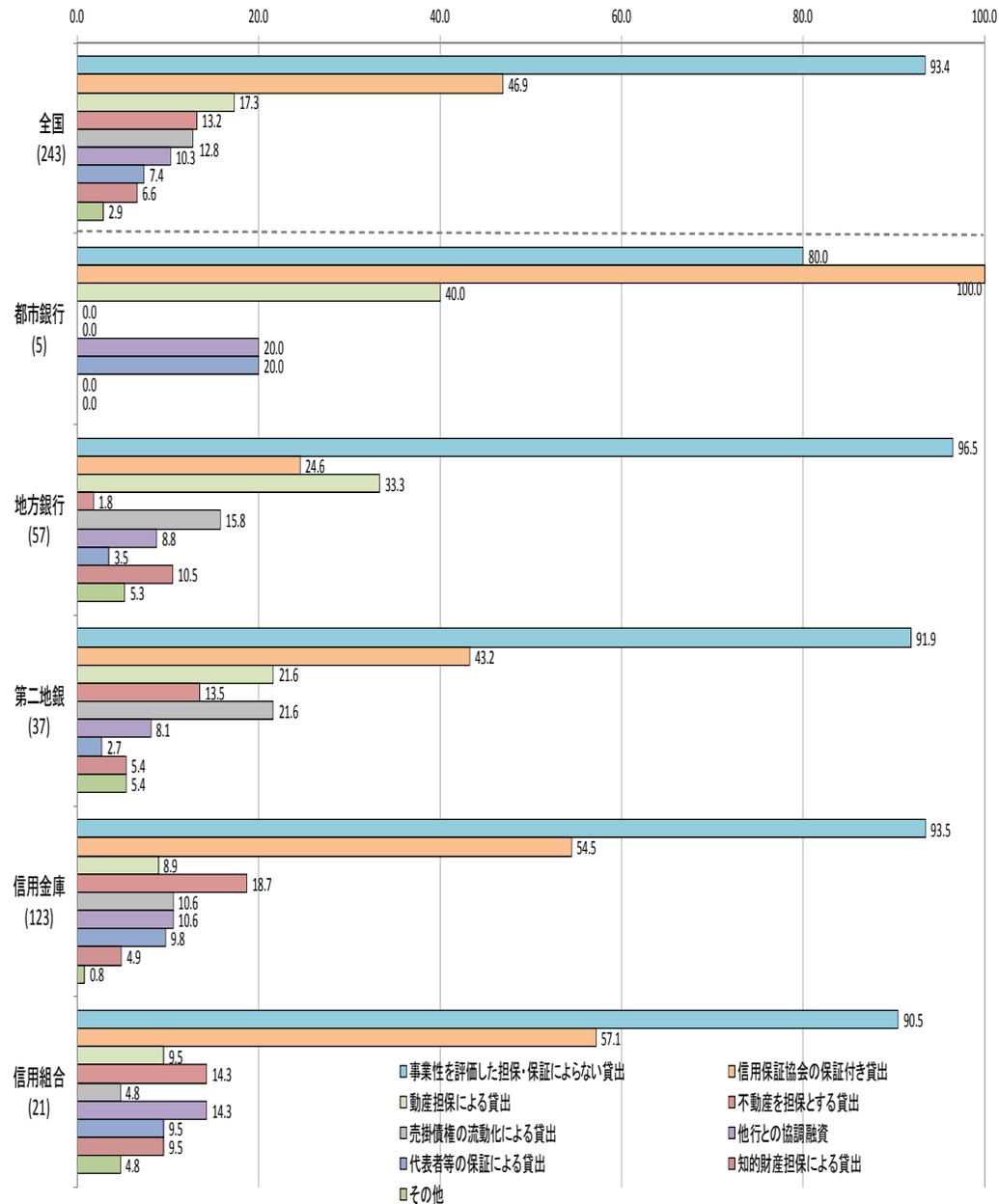
重点的に取組む中小企業に対する貸出手法(現在)(金融機関業態別)



※2、回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

重点的に取組む中小企業に対する貸出手法(今後)(金融機関業態別)

(%)



※1、()内は回答金融機関数

※2、回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。